

名古屋芸術大学

後援会報

第53号 2012年9月30日発行

CONTENTS

1	目次
2	ごあいさつ
3	後援会定期総会報告 前年度事業報告・今年度事業計画
4	新役員・委員一覧
5	2011年度 後援会決算報告
7	2012年度 後援会予算書
9	名古屋芸術大学近況報告
17	学生部報告 2012年度学生数
18	年間行事予定表
21	2012年度 入学式 大学へのお問合せ一覧
22	就職セミナーのご紹介
25	各学部進路状況
27	先輩の活躍
29	ブライトン大学ディグリーショー参加報告
30	国際交流紹介
31	クラブ・同好会紹介
33	音楽学部主催による演奏会のご案内
34	アート&デザインセンター展覧会スケジュール
35	親の想い
36	子の想い
37	トピックス ピックアップ
41	後援会学費貸付事業のご紹介
42	名古屋芸術大学後援会会則
43	壁の華・せせらぎ 会員募集
44	学校法人名古屋自由学院決算報告
45	大学運営組織図
46	木祖セミナーハウスのご紹介 編集後記

ごあいさつ



後援会長
萩 達也

ご父母の皆さま方には、日ごろから後援会活動に対してご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび後援会会長の重責を担うことになりました萩達也でございます。微力ではございますが、副会長をはじめ委員の方々と共に、職務を務めさせていただき所存です。何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、名古屋芸術大学は、芸術文化が開花した歴史ある名古屋地区に立地することを活かし、この地域に密着

した芸術活動のできる人材を育成することを標榜しています。

この点を受けて、「地域性」に配慮した教育・研究を行うとともに地域社会との連携や交流を始めており成果を上げています。また、社会に貢献し活躍できる人材を養成すべく、教育・研究の質を高めるための様々な施策を進めています。後援会は、このような大学の取り組みに賛同し、より良い教育環境の提供を目指します。

具体的には公開講座補助、学生の課外活動、福利厚生、就職活動、国際交流活動などの支援を行っております。後援会が、名古屋芸術大学のさらなる発展に寄与できますよう、努力して参る所存でございます。会員の皆さま方には、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、多くの学生の皆さんは今の経済情勢からアルバイトに従事していると思いますがしっかり勉学に励んでください。ただおとなしいだけではいけません。少し生意気になって積極的に行動してください。



学 長
竹本義明

本学の後援会は、5月の後援会定期総会を含め年間20日程度の事業を行っていますが、総会や研修旅行を除き、主に役員の方で多くの事業を執り行って頂いています。

最近では、学生の保護者の方がご夫婦で総会に参加され、大学教育へ大きな期待を寄せられていることを強く感じています。保護者の方の願いは、学生が充実した学生生活を過ごし、卒業と同時に納得できる就職が実現することだろうと考えています。

今や社会が大きく変化し、大学を取り巻く環境も変わり、保護者世代が抱く様々な価値観が大きく変貌し、就職においても従来からの終身雇用体制が崩れ、新たな産業構造により多様な就業形態が出現しています。

本学は、芸術系総合大学として芸術家、教育者、指導者を多く輩出してきましたが、最近是一般企業への就職が増加しています。そこでは、人間形成にとって重要な

感性教育の重要性が認められ、いわゆる「知性と感性」の備わったバランスの良い人材が社会に求められている結果であると考えています。

私自身、地方自治体の文化行政に関わりを持ってきましたが、行政が以前より文化芸術に取り組む姿勢を強化しているように感じています。しかし、行政組織の中で専門知識を持つ職員が皆無で、その取り組みに不安を抱えながら様々な事業を行っている現実があります。

社会がハードからソフトへとと言われて長い年月が経ちますが、自治体にとって、高齢化や福祉に伴う様々な施策とともに、ソフトへの配慮が求められ、文化・芸術が生涯学習教育の重要な要素として認識されるようになっています。

そのようなことを後押しする法律「劇場・音楽堂の活性化に関する法律(劇場法)」が今年成立しました。以前からの博物館法に加え、2001年に文化芸術活動に関する総合的な施策を推進させる目的で「文化・芸術振興基本法」が制定されていましたが、劇場法は劇場・音楽堂等を設置、運営する国、地方公共団体の役割を明確にし、実演芸術団体を含む関係者が相互に連携協力することを求めています。そして環境の整備等を進め、創造活動を活性化し、人材育成とその確保について、自治体による財政措置の責務が明記されました。

地域において、芸術に携わる人材が必要とされる時代に、本学としてしっかり対応してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

2012年度 名古屋芸術大学後援会 定期総会

2012年5月20日(日) 13:00より、西キャンパスB棟大講義室において、「2012年度名古屋芸術大学後援会定期総会」が開催されました

2011年度 名古屋芸術大学後援会事業報告

月日	事業内容	開催場所
5月22日	2011年度後援会定期総会事前打合せ 2011年度後援会定期総会	東キャンパス
6月1日 ～7日	イギリスブライトン大学ディグリーショー 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月25日	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月7日	法人より委託徴収金振替 前期分	
7月7日	後援会より補助金一括交付	
7月16日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	東キャンパス
9月30日	後援会報第51号発行	
10月15日 ～16日	後援会研修旅行 1泊2日	
10月29日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月11日	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月14日	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月18日	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	東キャンパス
2月24日	ブライトン大学賞表彰式(会長)	
3月21日	卒業式参列(会長・副会長《総務委員長》)	中京大学 文化市民会館
3月21日	卒業記念パーティー出席(会長・役員)	
3月31日	後援会報第52号発行	
4月4日	入学式参列(2011年度会長)	西キャンパス
4月13日	2011年度会計監査(2011年度監査2名)	東キャンパス
4月14日	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業を行いました。	

2012年度 名古屋芸術大学後援会事業計画

月日	事業内容	開催場所
5月20日	2012年度後援会定期総会事前打合せ 2012年度後援会定期総会	西キャンパス B棟
5月下旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月上旬	イギリスブライトン大学ディグリーショー 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月上旬	後援会より補助金一括交付	
6月23日	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月21日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	東キャンパス 1号館
9月下旬	後援会報第53号発行	
10月20日 ～21日	後援会研修旅行 1泊2日	
10月27日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月中旬	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月19日	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月16日	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	東キャンパス
3月上旬	ブライトン大学賞表彰式(会長)	
3月22日	卒業式参列(会長・副会長《総務委員長》)	名古屋市公会堂
3月22日	卒業記念パーティー出席(会長・役員)	
3月30日	後援会報第54号発行	
4月上旬	入学式参列 (2012年度会長・副会長《総務委員長》)	西キャンパス
4月中旬	2012年度会計監査(2012年度監査2名)	東キャンパス
4月下旬	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業を行う予定です。	



■2012年度 名古屋芸術大学後援会 役員・委員一覧

通番	役職名	氏名	学部
1	会長	萩 達也	音楽学部
2	副会長(総務委員長)	古澤 悦子	美術学部
3	副会長(事業委員長)	片山 みゆき	美術学部
4	副会長(広報委員長)	安藤 孝子	美術学部
5	副会長(会計)	富田 知彦	音楽学部
6	会計監査	小島 博史	音楽学部
7	会計監査	北川 広子	デザイン学部
8	書記	飯田 康子	美術学部
9	書記	酒井 真弓	デザイン学部
10	会計	土屋 里美子	デザイン学部
11	監事	佐藤 俊明	デザイン学部
12	総務副委員長	多田 聡子	美術学部
13	総務副委員長	木村 充代	人間発達学部
14	総務委員	平井 友明	人間発達学部
15	総務委員	服部 政光	美術学部

通番	役職名	氏名	学部
16	総務委員	遠田 真理	デザイン学部
17	総務委員	安藤 覚正	音楽学部
18	事業副委員長	内海 珠美	人間発達学部
19	事業副委員長	真野 久美子	美術学部
20	事業委員	角前 成子	人間発達学部
21	事業委員	内海 那保子	デザイン学部
22	事業委員	村瀬 毅	人間発達学部
23	事業委員	望月 弘子	音楽学部
24	広報副委員長	月森 為之	音楽学部
25	広報副委員長	今井 俊	デザイン学部
26	広報委員	渡部 朝子	デザイン学部
27	広報委員	中村 直美	人間発達学部
28	広報委員	岩尾 弥生	人間発達学部
29	広報委員	有川 美代子	音楽学部



全議題は賛成多数で承認されました。最後に退任された役員に対して、大学から感謝状が贈呈されました。長年にわたって本当にありがとうございました。



■2011年度 名古屋芸術大学後援会 決算書

1. 一般会計

2011. 4. 1～2012. 3. 31 単位：円

収入の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	4,789,560	4,789,560	0	
会 費 収 入	29,000,000	28,202,000	798,000	
特別会計より組入	0	0	0	
受 取 利 息	2,000	2,084	-84	
手数料他収入	0	29,850	-29,850	事業協賛金
合 計	33,791,560	33,023,494	768,066	

支出の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
通 信 費	400,000	323,395	77,605	私学助成署名運動他
旅 費・交通費	300,000	182,720	117,280	
会 議 費	500,000	395,235	104,765	
事務費・用品費	200,000	121,018	78,982	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	30,000	70,000	
渉 外 費	500,000	477,822	22,178	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	750,000	748,818	1,182	
(総務関係合計)	2,750,000	2,278,008	471,992	
芸大祭補助	3,800,000	3,800,000	0	
クラブ補助	7,800,000	7,800,000	0	
就職活動補助	5,000,000	4,149,263	850,737	
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	863,786	136,214	
公開講座補助	5,000,000	4,892,278	107,722	
施設・設備補助	940,000	937,739	2,261	
福祉事業補助	0	0	0	
学費貸付金資金振替	0	0	0	
特別積立金振替	500,000	500,000	0	
教員・役員研修費補助	800,000	889,743	-89,743	研修費補助金
(事業関係合計)	26,440,000	25,432,809	1,007,191	
広 報 活 動	1,200,000	1,144,185	55,815	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	500,000	393,379	106,621	
広報誌手数料	50,000	0	50,000	
(広報関係合計)	1,750,000	1,537,564	212,436	
予 備 費	2,851,560	172,200	2,679,360	奨学金返還請求分 弁護士
次年度繰越	0	3,602,913	-3,602,913	
総 合 計	33,791,560	33,023,494	768,066	

2. 特別会計決算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	0	0	0	
2	一般会計より資金繰入	500,000	500,000	0	
3	雑 収 入	100	0	100	
4	合 計	500,100	500,000	100	

支出の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
5	特別積立金事業計画	0	0	0	
6	事業計画積立金	500,100	0	500,100	
7	次年度繰越金	0	500,000	-500,000	
8	合 計	500,100	500,000	100	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
9	前年度繰越金	8,803,697	8,803,697	0	
10	一般会計より資金繰入	0	0	0	
11	特別会計より資金繰入	0	0	0	
12	学生貸付金返済金	2,300,000	5,831,145	-3,531,145	
13	雑 収 入	3,000	1,568	1,432	
14	合 計	11,106,697	14,636,410	-3,529,713	

支出の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
15	学 生 貸 付 金	10,000,000	2,700,000	7,300,000	
16	予 備 費	1,106,697	69,369	1,037,328	過払い返還金の戻し
17	次年度繰越金	0	11,867,041	-11,867,041	
18	合 計	11,106,697	14,636,410	-3,529,713	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
19	前年度繰越金	2,132,464	2,132,464	0	
20	雑 収 入	1,000	342	658	
21	合 計	2,133,464	2,132,806	658	

支出の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
22	講演会、パンフレット作成	350,000	0	350,000	
23	次年度繰越金	1,783,464	2,132,806	-349,342	
24	合 計	2,133,464	2,132,806	658	

■2012年度 名古屋芸術大学後援会 予算書

1. 一般会計

2012. 4. 1～2013. 3. 31 単位：円

収入の部

	2012年度 予 算	2011年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	3,602,913	4,789,560	-1,186,647	
会 費 収 入	27,602,000	29,000,000	-1,398,000	
特別会計より組入	1,600,000	0	1,600,000	学費貸付金口
受 取 利 息	2,000	2,000	0	普通預金
手数料他収入	20,000	0	20,000	事業協賛金
合 計	32,826,913	33,791,560	-964,647	

支出の部

	2012年度 予 算	2011年度 予 算	差 異	備 考
通 信 費	350,000	400,000	-50,000	
旅 費・交 通 費	200,000	300,000	-100,000	
会 議 費	500,000	500,000	0	
事務費・用品費	150,000	200,000	-50,000	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	500,000	500,000	0	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	750,000	750,000	0	担当派遣職員
(総務関係合計)	2,550,000	2,750,000	-200,000	
芸大祭補助	3,800,000	3,800,000	0	
クラブ補助	7,800,000	7,800,000	0	
就職活動補助	5,500,000	5,000,000	500,000	
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	1,000,000	0	
公開講座補助	4,000,000	5,000,000	-1,000,000	
施設・設備補助	1,000,000	940,000	60,000	
福祉事業補助	0	0	0	
学費貸付金資金振替	0	0	0	
特別積立金振替	500,000	500,000	0	特別積立金口
教員・役員研修費補助	800,000	800,000	0	研修費補助金
(事業関係合計)	26,000,000	26,440,000	-440,000	
広 報 活 動	1,200,000	1,200,000	0	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	500,000	500,000	0	
広報誌手数料	50,000	50,000	0	アルバイト代
(広報関係合計)	1,750,000	1,750,000	0	
予 備 費	2,526,913	2,851,560	-324,647	
総 合 計	32,826,913	33,791,560	-964,647	

2. 特別会計予算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2012年度 予算	2011年度 予算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	500,000	0	500,000	
2	一般会計より資金繰入	500,000	500,000	0	
3	雑 収 入	0	100	-100	
4	合 計	1,000,000	500,100	499,900	

支出の部

単位：円

	科 目	2012年度 予算	2011年度 予算	差 異	備 考
5	特別積立金事業計画	0	0	0	
6	事業計画積立金	0	500,100	-500,100	
7	次年度繰越金	1,000,000	0	1,000,000	
8	合 計	1,000,000	500,100	499,900	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2012年度 予算	2011年度 予算	差 異	備 考
9	前年度繰越金	11,867,041	8,803,697	3,063,344	
10	一般会計より資金繰入	0	0	0	
11	特別会計より資金繰入	0	0	0	
12	学生貸付金返済金	3,000,000	2,300,000	700,000	
13	雑 収 入	3,000	3,000	0	
14	合 計	14,870,041	11,106,697	3,763,344	

支出の部

単位：円

	科 目	2012年度 予算	2011年度 予算	差 異	備 考
15	学 生 貸 付 金	10,000,000	10,000,000	0	
16	一般会計へ資金繰入	1,600,000	0	1,600,000	
17	予 備 費	3,270,041	1,106,697	2,163,344	
18	合 計	14,870,041	11,106,697	3,763,344	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2012年度 予算	2011年度 予算	差 異	備 考
19	前年度繰越金	2,132,806	2,132,464	342	
20	雑 収 入	500	1,000	-500	
21	合 計	2,133,306	2,133,464	-158	

支出の部

単位：円

	科 目	2012年度 予算	2011年度 予算	差 異	備 考
22	講演会、パンフレット作成	350,000	350,000	0	
23	次年度繰越金	1,783,306	1,783,464	-158	
24	合 計	2,133,306	2,133,464	-158	

名古屋芸術大学近況報告

音楽学部

《演奏学科》

声楽コース

声楽コースでは、今年度もオペラ公演を中心に、学生達に舞台経験を積ませるために、学部主催の定期演奏会等の他に、声楽コース独自のコンサートとして「歌曲の夕べ」を2013年2月9日に電気文化会館ザ・コンサートホールにて行います。

なお、今年度のオペラ公演は、ドイツの作曲家エンゲルベルト・フンパーディンクの代表作「ヘンゼルとグレーテル」を2013年2月21日に名古屋市芸術創造センターにおいて行います。現在、公演に向けて、澤脇教授の指導のもと、学生達は練習に励んでいます。

声楽コース 教授 土佐 誠

ピアノコース

恒例になりました姉妹校提携、パリ・エコール・ノルマル音楽院との交換交流。今年も5月8日(火)音楽院副学長マンサール教授が来学され、3号館講堂・ホールで公開講座を開催しました。一部の公開レッスンではピアノコース4年永田紘子さんがドビュッシー「版画」より塔、ピアノコース4年秀平雄二くんがラヴェル「夜のガスパール」よりオンディーヌを演奏。マンサール教授から、曲が創られた背景、作曲者の心情、楽曲構成、創作の基になる詩の内容が本学客員教授中沖玲子先生の通訳を通して話され、範奏を伴ったアドバイスをいただきました。二部では、ピアノコースから菅原美枝子教授、山田敏裕教授により両校教授作品のピアノ演奏がされました。

7月12日(木)には「コンチェルトの夕べ」が～しらかわホール～で開催され、ベートーヴェン ピアノ協奏曲第3番ハ短調作品37、サン＝サーンス ピアノ協奏曲第5番ヘ長調「エジプト風」作品103が本学客員教授古谷誠一先生指揮名古屋芸術大学オーケストラと協演し、満席の会場から喝采の拍手がありました。

今年4月より本学と連携を深めることになった名古屋音楽学校で7月15日(日)、名古屋芸術大学音楽学部「無料体験レッスン」が行われ、ピアノコースからも教授がレッスンを担当しました。昨年より本学3号館講堂・ホールで開催しています「ピアノ・サマーコンサート」。前期ピアノ実技試験で選ばれた学生(1年・2年・3年・特待生)が近隣の方々も多く来聴される中、好演しました。

また、初めての試みとして『Y P F サマーフェスタ in 名古屋芸術大学』を8月19(日)、23(木)、24(金)、25(土)、26(日)名古屋芸術大学で開催しました。大学と企業の共同企画ともいえる企画で、「ヤマハピアノフェスティバル」の参加者が名古屋芸術大学で演奏し教授によるアドバイス(講評)を受けると共に、名古屋

芸術大学との繋がりもできる、そうした機会を設けるためのもので、ピアノコース学生の演奏を聴いたり、大学内見学、フルコンサートピアノ指弾を経験します。9月27日(木)には、本学客員教授マインハルト・プリンツ先生による公開講座「響の行方」～講演と演奏～を開催いたします。

ピアノコース 教授 田中航造

弦管打コース

新学期早々4月5日、ポルト・ナショナルオーケストラ主席でポルト大学でホルンと合気道を教えている「ボフダン・セベステーク」氏のコンサートと公開講座が開かれ、あたたかい人柄と音色で学生たちは魅了されました。

7月12日協奏曲の夕べにおいて、ワグナーの序曲「さまよえるオランダ人」ピアノ協奏曲2曲ヴェートーヴェン3番、サンサーンス5番と2本のチェロのため



の協奏曲op45(クレンゲル)で開催されました。チェロは、ゲヴァントハウスオーケストラ主席「ユルンヤーク・ティム」氏とその子息「アンドレアス・ティム」氏のソロで弦管打コースの公開講座の位置づけで演奏をお願い致しました。観客動員数も多かったのですが、すばらしいアンサンブルに会場中の熱気おさまらず、チェロのデュオのアンコールを聴くことができました。

今年も8月30日NUAストリングスが開催されます。曲目はブラームス6重奏曲1番、バッハ、ブランデンブルグ第3番、ドボルザーク、セレナードop22。ウィンドオーケストラは9月27日、竹内雅一先生とヤン・ヴァン デル ロースト先生による第31回定期演奏会が行われます。オーケストラの定期演奏会は、10月19日、古谷先生指揮、ファルヴァイ・シャーンドル先生のピアノソロで、リスト2番の協奏曲、ラフマニノフ第2番のシンフォニーで開催されます。学生ともども一生懸命というのはいつもですが、なんとか卒業生のみなさん演奏会にきて下さって盛り上がることを楽しみにしております。

弦管打コース 教授 森 典子

電子オルガンコース

電子オルガンコースの2012年度の立ち上がりは大変順調と申せます。幸い、2011年度の卒業生よりも多い新入生を迎える事ができ、これからの学内外の活動に大いに期待が持てると個人的には意気込んでおります。また、中国から優秀で勉強熱心な新しい留学生も迎え、地域社会を中心にした国内に向けてのみならず、海外に向けても電子オルガンコースから何かを発信出来ることは、大変に教育のしがいのようなものを強く感じている次第です。

さて、それも含めました電子オルガンコースの4学年、及び研究生含め30余名の活動状況のご報告です。

先ず特筆すべきは、今年で三年目を迎えた夏のワークショップ…本学キャンパスに於いて中部・東海・北陸の電子オルガン指導者や学生を中心にお招きして行われる勉強会はすっかり定着の観が有り、去年にも増す盛況で大成功でした。プロプレイヤーを招いたりジャズ・ポップスコースとのタイアップ企画が有ったり盛り沢山の1日でしたが、特に人気が高かったのは本学の講師陣によるワンポイント・クリニックで、インターネット申込時点でお断りをせねばならない方々多数…という状況でした。この日の模様は“月刊エレクトーン”という雑誌にもレポート記事として掲載されました。

これからのイベントとしましては、12月4日のコース定演“アースエコー”に向かって動き始めます。オーディションも済みプログラムも決まりつつありますが、例年のようにコース全員が演奏する企画も準備中です。

12月8日には本学と提携した名古屋音楽学校のホールに於ける演奏会にてピアノ協奏曲のオーケストラ役を電子オルガンコースの卒業生が担当するというコンサートの予定も有ります。

年が明けると学部主催のオペラ公演“ヘンゼルとグレーテル”でも学生らがオーケストラの代役にて演奏を提供する事になっています。年間恒例行事ではありますが、電子オルガンコースは新しい学生らと新しい音楽的刺激を求めて前に進んでおります。

電子オルガンコース 准教授 鷹野雅史

《音楽文化創造学科》

音楽文化創造学科の前期ご報告をいたします。

例年のように9月10～11日山梨県清里においてフレッシュマン・サマーセミナーを行いました。音楽文化創造学科のサウンド・メディア、音楽療法、ビジネス、ジャズ・ポップス、総合コースの5コースに在籍する学生57名、教職員19名 計76名で合宿を行いました。



5回目となる「きよさと ふれあい コンサート」も今年は様々な楽器のお披露目となりました。学生による「箏・ギター・ピアノ合奏」「トーンチャイム合奏」「ジャズ演奏」それにスタッフによる「トランペット」「ピアノ連弾」そして教員による「二胡とジャズピアノセッション」と音楽文化創造学科ならではのプログラムでした。

また今年にはダニー教授（ジャズ・ポップスコース）による特別演奏もあり、最後には聴衆のかたも一緒に「見あげてごらん 夜の星を」を歌い終了しました。

毎年、このコンサートを楽しみにしてくださるお客様もいらっしや「また来年来ます」と言ってくださいました。



音楽文化創造学科と地元の方とのひと時のふれあいでしたが、学生たちも合宿を通し、いろいろ学べたのではないかと考えています。音楽教育、ミュージカルコースは近々、セミナーを予定しています。



後期の授業も始まりますが、講義、実技、そしていろいろな行事を教員、学生ともに有意義に過ごしていきたいと願っております。

音楽文化創造学科 学科長 久保田進子

《演奏学科・音楽文化創造学科》

音楽総合コース

音楽総合コースでは、慣例になっている新入生対象の合宿を、4月1日、2日の2日間、豊橋のリゾートホテルで行いました。総合コース新入生43名の他、全コースからの代表教員、教務課事務担当者が参加し、きめ細かな履修指導、各コースの説明を行いました。

1日目の出発時には、なんとなく緊張していた新入生も、バスの中での自己紹介やゲームなどを通じ、合宿地に到着する頃にはリラックスして、楽しく談笑をしている姿がみられました。また、この合宿には2、3年生の総合コースの学生が、約10名が同行しましたが、彼らは先輩の立場からの学生生活、履修方法などを、学生目線での確かなアドバイスをしてくれていました。

総合コースの学生は、学びたい分野に応じて個性的なカリキュラム自ら作り、将来専門家として自立するための勉強をしていくわけですが、この為に大学では個々の学生が充実した学生生活を送れるよう、学年単位の担任制、専従の助手を配置するなど、特に細かなケアを行い見守っています。3年次で再度コースの見直しをしますが、1、2年時の履修状況、専門教員の意見などを参考にして、各学生の意向、個性を尊重した進路相談を行っています。

また、学生生活の面では、クラブ活動や芸大祭で中心的なメンバーとして活躍する学生も多く、様々なイベントで生き生きと活動している姿をよく見かけます。

さらに、各コース主催の演奏会、セミナー、合宿などにも積極的に参加して、自らの音楽的スキルに磨きをかけています。今年度から実施しております、総合コース全学生対象の、年2回の個人面談では、学生個々の履修状況、学生生活の充実度の把握が出来、今まで以上にきめ細かい指導をすることができるようになりました。また面談での学生の声に基に、教育環境整備を日々整えていっております。

音楽総合コース長 教授 田中範康

美術学部

2012年度も前期がほぼ終了、夏季休暇を迎えました。名古屋芸術大学後援会の皆様におかれましては、美術学部の教育活動に対しまして、平素より御支援を賜わり誠にありがとうございます御座居ます。心より感謝を申し上げます。

美術学部の学生達は、彼らの創作活動への真摯な態度、そして表現するための“見る・触れる”と云った、経験と実践を通して、芸術世界を受けとめることができ、それがそのまま、真実の深究に波及し、21世紀、混迷する社会に生きる若人として、今を生きる力となり、そこから生み出される生命感が、生きる喜びを接する者に与えられる魅力となることを確信するものです。

名古屋芸術大学、美術学部の学生一人一人には目には

見えない命のこもった真実の世界を想い描ける力が有ります。

「モノ」の奥にある思いやりや、感じ方を表現する、ゆたかな情感が有ります。更に、表現に潜む生命観を感じとる豊かな力があります。

「自身を信じ夢に向う」この信念が若人の明日を創り上げてくれると信じます。

名古屋芸術大学では毎年、学生への創作意欲への触発として、世界で活躍するアーティスト、クリエイター等を招いております。本年度も、多くのプロジェクトが企画されております。その一部ですが御案内いたします。

美術学部長 神戸峰男

特別客員教授

樂吉左衛門さん講演会を終えて

近年、日本の陶芸がアメリカやヨーロッパ、世界で静かな脚光を浴びている。その由縁を思っていた折り、樂さんの発表行動に目が向いた。佐川美術館に新設された樂吉左衛門館、松坂屋美術館「今を生きる」茶碗展を見ての事でした。

樂さん宅を最初に訪れた折り本宅座敷に案内され応対頂いた。奥さんの扶二子さんと一時間程、私の意向と、しばしばの陶芸談義と成り、樂さん自作の茶碗で一服お茶を頂き、私は樂家の一種独特な緊張感と間を楽しんだ。

二度目、契約に訪れた際に以前より話には聴いていた窯場を見せて頂いた。中庭、台所、窯場と樂さんの日常空間に触れ、樂さんが私に心を許された事が嬉しく、益々彼への興味が高まるのを感じた。

講演会は二面のスクリーンに 一つは歴代 樂の茶碗、一つは当代樂さんの茶碗をスライドに映しながら、質問形式で話は始まった。佐川会長とのご縁から、樂吉左衛門館、設計、制作に付いて、竹中工務店、スタッフと共に五年に及ぶ制作のエピソード、イメージーションを話された。

気負いも無く淡々と言葉を選び話される姿に、彼の体に持っている言うまでもない素養と品位を感じた。保守本流の存在でありながら革新性を織り重ねる思考性は非常に柔らかく 親近感を憶えた。

講演会、後談では、次の企画を望まれる声が多く、私だけでなく多くの学生、来場者の皆さんも生の樂さんに触れ至福を感じて下さっていた様です。

陶芸コース教授 吉川正道



15代 樂吉左衛門氏



樂氏の制作した茶碗



茶室に置かれた茶碗



樂氏(左)、吉川氏(中央)と久野氏(右)

洋画コースOBの活躍・第三弾!

洋画コースでは数年前から紙媒体のニュース情報『洋画2コース & 大学院同時代表現研究<洋画>+現代アートnews』にて、卒業後の洋画コースOB達の国内外での動向を取材・調査をし、アーティストとしてパブリックな活躍に値するOB関連の展覧会情報を紹介しています。他にも作家以外の立場で社会やアート界にて活躍をしている卒業生にスポットを当てて写真入りで掲載しています。

以下が最近のニュースです。

洋画2コース教授 大崎正裕



1: 本学洋画2コース卒業・上村 静氏と水野 里奈氏と萬未 来子氏の3名が

『アートアワードトーキョー 丸の内 2012(A.A.T.M)』に選抜され出品!

●上村静氏が加藤泉賞、水野里奈氏がアッシュ・ペー・フランス賞を受賞!

会 期: 2012年4月28日~5月27日	11:00-20:00	入場無料	協 賛: shu uemura
会 場: 行幸地下ギャラリー	東京都千代田区丸の内2-4-1(行幸通り地下)		協 力: H・P・F/日仏会館
主 催: アートアワードトーキョー丸の内2012実行委員会			後 援: 在日フランス大使館
特別協賛: 三菱地所			

■AATM: 若手アーティストの発掘・育成を目的に全国の芸大・美大の卒業制作展から優秀な作品制作者を選考し、東京の丸の内地下行幸ギャラリー(ショーウィンドー)にて毎年、展覧会を開催している。若手アーティストの 登竜門として定着してきた全国区の選抜展。



作者: 萬未来子



作者: 上村静



作者: 水野里奈

© Rina Mizuno 2012 Courtesy of Taimatz

2: スタンディングパインキューブギャラリー(名古屋)が「TOKYO FRONTLINE 2012」に参加!

本学洋画コース卒業生・犬飼 真弓氏の作品出品!



TOKYO FRONTLINE 2012

<http://tokyofrontline.jp/>

出展作家: 荒井理行・犬飼真弓・平川祐樹

会 場: 3331 Arts Chiyoda 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14

<http://www.3331.jp/access/>

会 期: 2012年2月24日(金)~2月26日(日) 11:00-20:00(最終日は17:00まで)

2月23日(木)ご招待の方のみ

メディア・VIPプレビュー16:00-18:00

オープニングレセプション18:00-21:00

3: 本学洋画コース卒業生・三枝 由季氏がエビスアートラボ(名古屋)で個展開催!

会 期: 2012年3月31日-4月30日
 会 場: YEBISU ART LABO
 460-0003 名古屋市中区錦2-5-29
 えびすビルPART1 4F
 mail info@artlabo.net
<http://www.artlabo.net>
 オープニングパーティー: 3月31日 19:00-



会場風景

4：洋画2コース卒業・鬼頭 健吾氏が豊田市美術館で発表！

「Carpe Diem Seize the day」カルペ・ディエム 花として今日を生きる

会期：2012年6月30日(土)～9月23日(日) 午前10:00-午後5:30(入場は午後5:00まで)

出品作家／荒木経惟 イケムラレイコ 伊島薫 河原温 鬼頭健吾 栗田宏一
福田美蘭 福永恵美 中川幸夫 宮島達男 渡辺豪 ノット・ヴィタル
休館日：月曜日[7/16、8/13、9/17は開館]

主催：豊田市美術館 日本経済新聞社 テレビ愛知 テレビ朝日
協力：アーサー・サンダーソン&サンズ社 小原観光協会 株式会社JVCケンウッド
株式会社花ごころ 株式会社ミネルバ 昭和理化 日本バイオ株式会社
マナトレーディング株式会社

観覧料：一般1,000円[800円]／高校・大学生800円[600円] 中学生以下無料
[]内は20名以上の団体料金 市内高校生、障がい者及び市内75歳以上は無料[要証明]
豊田市美術館、チケットぴあ[pコード765-149]で6月29日(金)まで

問合せ先：豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1
TEL:0565-34-6610 http://www.museum.toyota.aichi.jp



ケンジタキギャラリーにて個展を同時開催！

個展タイトル「carousel」

会期：2012年6月23日(土)～8月4日(土) オープニング：6/23(土) 6:00-7:30pm
hours 11:00-13:00/14:00-18:00

会場：KENJI TAKI GALLERY ケンジタキギャラリー 〒460-0008 名古屋市中区栄3-20-25

休廊日：日・月・祝 休館

TEL：052-264-7747 FAX：052-264-7744

5：TWS主催のシード展公募に本学洋画2コース4年在籍・坂本 和也さんと本学大学院同時代表現研究<洋画>修了・

宮崎 浩太氏が応募・入選。



作者：宮崎浩太



作者：坂本和也

会期：2012年2月4日(土)～2012年2月26日(日)

休館日：2月6日, 13日, 20日

時間：11:00 - 19:00

入場料：無料

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

会場：トーキョーワンダーサイト渋谷

6：island JAPAN株式会社勤務の本学洋画コース卒業・清水 梓氏がカタログ編集！

「DRAWING一線を描くという営為」

会期：2011年9月2日～9月25日 会場：island MEDIUM カタログ編集：清水梓 編集協力：伊藤悠、水谷一 翻訳：パメラ三木 写真撮影：木奥恵三
デザイン：中島雄太 印刷：INUUNI株式会社 テキスト執筆：武井利史(府中市美術館学芸員/美術評論家)、数前知子(東京都現代美術館学芸員)、樂水亜樹、
鈴木ヒラク、中原一樹、水谷一、伊藤悠、発行日：2011年12月1日 発行：island JAPAN株式会社

PERSON

Azusa Shimizu 清水 梓さん
(株) island JAPAN 勤務

私は今、現代アートを販売するギャラリー「island MEDIUM」で働いています。

仕事の内容は、スケジュール調整、展示の組み立て、接客、販売など、多岐にわたります。

2010年に卒業してすぐ、現代アートやギャラリーのこともわからずに無計画で東京へ出てきました。

その割には楽しく仕事をしています。この仕事は日本の多くの人が思うように、お金はあまり稼げませんし、理解もありません。例えるならば「現代アート」はマイナーなスポーツのように、独自のルールを解っている人の間で楽しむようなものに思われていますが、それは「現代アート」と呼ばれているものの解釈の一部であり、実際は短い文章で語ることは不可能なほど、多くの要素で構成されています。私の仕事はその「現代アート」をできるだけ多くの言葉で語ること、そして観る人に像を結ばせることだと思っています。

働くということは作品を制作するということと同じく、自分自身を表現する手段です。

どの仕事を選ぶかというだけでなく、その仕事の中で何をするか、何を得るか、取捨選択を重ねて自分の思う方向へ環境を持っていくことは表現そのものです。

そのことを頭の隅に置いて生きれば、少し人生が楽しくなるのではないかと思います。



< 作品写真などが毎号で重複するのは著作権が取扱いギャラリーや撮影写真家に移るためです >



名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF ARTS

レイアウト：Mizuki Hatakeyama 取材 / 編集：Masahiro Osaki

デザイン学部

2012年度名古屋芸術大学（4学部4研究科）入学式が4月4日（月）に西キャンパスで行われました。前年の入学式は、3月の震災を踏まえ、出席者全員での黙祷後の開式となりました。あれから1年経過し、そして春から夏へ、蝉の声が波のように大きく耳に響く季節になりました。

強い陽射しに目の前の風景が揺れているのを見るにつけ、計り知れない海水に被われた地に、蝉の声が響いているのか気掛りです。夏のキャンパスは、学生の姿もまばらになって、後期始まる前まで続く学内工事の音と、蝉の声が主役になります。

8時間という時差を超えて、オリンピックの情報が様々なメディアを過ぎてイギリスから流れてきます。この間まで、国会を取りまく人の波を多くのメディアが取り上げていました。参加人数についてのあまりの発表の違いに、改めて変わらないメディアの構造と現状を知らされました。

今年6月上旬に、本学姉妹校であるイギリスブライトン大学の「GRADUATE UP AND BEYOND SHOW 2012」に参加する為、後援会長と共に渡英しました。南海岸のブライトンは、オリンピック前の空気はあまり感じませんでしたが、帰路に立ち寄ったロンドンは、さすがに工事が多くて慌しさを感じました。

今年ブライトン大学から本学へ来ていた学生達は、7月末に帰国しました。短期間の留学でしたが彼等に学生や大学やこの国が、どのように見えたのでしょうか。

帰国前に学内ギャラリーで留学生の展示発表会がありました。その中で、紅く染めた沢山のマスク（実物）を繋いで、実物大程の鳥居を組み上げていた学生の作品が印象に残りました。日本に来てマスクをする人の多さに奇異を感じ、神社仏閣や着物等により興味を増した結果の表現だったようですが、それ以上に展示空間の中で同時代の日本のある部分に向けて、何かを確かに発信していたように思えました。

ここでは、今期これまでデザイン学部が、学内外に対して実施した主な講座やイベント等を、簡略化して列挙し紹介します。

- ・ 4月27日／広告表現論
「山崎晃氏」特別講座(1)
グラフィックデザイナーとして、広告デザインについて話されました。



- ・ 5月1日～11月2日／ちゅうしんアートギャラリーで、本学卒業生が作品展を開催しました。

- ・ 5月11日／デザイン学部特別客員教授「檜原由比子氏」のワークショップが開催されました。



- ・ 5月11日～23日／2012年度アート&デザインセンター企画展「B I T E S I Z E 日英テキスタイルアート交流展」が開催されました。



- ・ 5月18日／広告表現論
「山崎晃氏」特別講座(2)
が開催されました。



- ・ 5月31日／産学協同研究課題「CS向上キャンペーン」ワッペンデザイン提案審査会が行われました。
(メディアコミュニケーションデザインコース学生)



- ・ 6月1日／広告表現論
「岩田正一氏」特別講座(1)
が開催されました。
コピーライター、クリエイティブディレクター。



- ・ 6月2・3日／テキスタイルデザインコース学生が、産学協同の授業で制作した手ぬぐいや帽子を、有松絞りまつりで発表しました。



- ・ 6月9・10日／特別セミナー「ホンダデザインセミナー2012」が西キャンパスで開催されました。



・6月14日／広告表現論「岩田正一氏」特別講座(2) コンセプトワークとプレゼンテーションについて話されました。



・6月16日／オープンキャンパスが開催されました。



・6月22日～27日／名古屋芸術大学OB・OG展が開催されました。



・6月23日／デザインと文化3「ドキュメンタリスト瀬戸山玄氏による特別講座」が開催されました。



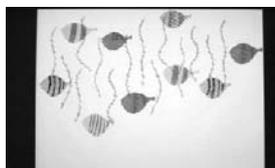
・6月26日／デザイン学部特別客員教授「服部滋樹氏」の特別講義が開催されました。



・6月29日／広告表現論「横田保生氏」特別講座(1) GKグラフィックスの仕事を中心に話されました。



・6月30日／デザインと文化1「セキユリヲ氏」による特別講座が開催されました。



・7月4日／JR名古屋タカシマヤにて、横綱白鵬関とのトークショーに、本学卒業生「まり木綿」が出演しました。



・7月6日／(株)GKグラフィックスの「横田保生氏」によるワークショップが行われました。



・7月6日／特別客員教授「檜原由比子氏」によるワークショップが行われました。



・7月16日／オープンキャンパス2012「サマー編」が行われました。



※尚、項目別のより詳しい内容については、名古屋芸術大学ホームページ、デザイン学部、NUA ACTIVITY REPORT/トピックをご覧ください。

※追記／デザイン学部では、前年度より「フレッシュマンキャンプ」を実施しています。新入生間での相互理解を深め、教職員スタッフとの親睦を主な目的とした学外授業です。今年度は、連休に入る少し前の4月21日(土)に出掛けました。近鉄名古屋駅より専用列車で賢島駅まで行き、10分程のクルーズの後バスで目的地である「合歓の郷」に昼少し前に着きました。自然体験・コミュニケーションプログラムとして「ランチパーティー」を準備し実施しました。200人程の学生と教員スタッフが5グループに分かれて、それぞれ別のメニューを、200人分調理しました。材料の調達から調理そして盛り付けるまで、グループによるデザイン制作と同様です。「てこね寿司とカルパッチョ」「かご漁からの釜飯」「野菜の収穫からのミートローフ・サラダ」「野菜の収穫からのスープと手造りパン」「ミントの収穫からのフルーツタルト」の5品が、各人の手元になりました。賑やかでおいしいランチパーティーになりました。

デザイン学部長 落合紀文

人間発達学部

教員異動

平成24年4月1日付けで、2名の新任教員を迎えました。お一人は、南元子准教授(表現学・幼児教育学)、もう一人は、松實輝彦准教授(図画工作)です。南先生は今年度から、松實先生には極めて近い将来に、大学院の担当もお願いすることになりますが、お二人とも気鋭の研究者でありますので、学部並びに大学院に新しい風を吹き込んでいただけるものと期待いたしております。

なお、昨年度末をもって三輪弘美教授(声楽)が定年退職されました。また、加藤暢夫准教授(福祉学)がご自身のご都合により退職されました。少し寂しいのですが、お二人とも非常勤講師として引き続き学部生の教育にご尽力願っております。

学部行事

(1) 新1年生のオリエンテーション合宿

4月4日、入学式が行われ、人間発達学部には121名の新1年生が入学いたしました。



翌4月5日から1泊2日の日程で、三重県賢島の「合歓の郷」を会場に、オリエンテーション合宿を行いました。新1年生にいち早く大学生活に慣れてもらうために、友人作り、上級生や教職員との交流などを目的に、学部の発足以来続けている企画です。新1年生全員が参加しましたが、例年以上に熱心に教員による小講義を聴き、ゼミ毎の討論に主体的にかかわり、その結果を工夫を凝らした寸劇や合唱等で発表していたのが、強く印象に残りました。“今年の1年生は期待できるぞ”というのが大方の教員の感想でした。

(2) 文化創造セミナー

6月9日、本学1号館アセンブリーホールにおいて、附属人間発達研究所の立案による、本年度



第1回の文化創造セミナーを開催いたしました。第1部は、びわこ学園医療福祉センター草津前園長高谷清先生に、『人間とはどういう生きものかー重症心身障害児を通して考える』と題してご講演いただきました。第2部では、映画『夜明け前の子どもたち』(びわこ学園の療育)を視聴しました。参加者は3年生を中心に150名程度でしたが、人間の尊厳や教育の原点についての深い示唆を与えられたセミナーとなりました。

(3) 子育て一子育てワークショップ

これも人間発達研究所主催の事業になりますが、今年度も大学の地域貢献の一つとして、「子育て一子育てワークショップ」が開かれています。開所式は5月17日でしたが、これ以降の水曜・木曜日の午前中2時間ほどを

使って、近隣の就園前の子どもさんとお母さん方に、遊びや相互交流の場を提供しています。ときどきミニレクチャーを含めることもあります。基本的には相互交流の中で、親も子も(ボランティアに参加させてもらっている学生も)相互に育ち合おうという企画(通年で、延べ200組近い親子さんが参加されます)。なお、会場は、9号館3Fのプレールームを中心に使用してきましたが、近々、11号館1Fに、プレールームの他、砂場や子供用のトイレ、授乳室などを備えた「子育て広場」的なスペースが完成する予定です。より安全で使い勝手よい実習・実践スペースとなることを願っております。

(4) 全学後援会総会・人間発達学部保護者一教員懇談会

5月20日に、全学の後援会総会が開かれましたが、その終了後に人間発達学部独自の保護者一教員懇談会を開きました。かねてより、学生の修学については保護者の方々との連携を図る必要を感じておりました。その第1回ということですが、30名弱の方々が、各指導教員と面談をされました。大方は当該学生の大学での生活の状況をお知らせするような形になったようですが、今後は会の持ち方を工夫し、さらに連携を深めていく必要性を感じました。

(5) 学生の基礎学力向上と進路開拓

人間発達学部では、1年次から種々の講座やゼミナールを通して学生の基礎学力の向上を図ろうとしてきています。また、学生が自らの志望に応じた進路を選択し、高度な職業人として巣立っていくことに最大限の支援をしたいと考えています。今年度も基礎学力のフォローアップのための講座や就職対策の講座が用意されています。しかしながら、学生たちの取り組みは必ずしも芳しいものではありません。6月9日には愛私幼(愛知県私立幼稚園連盟)の模試が、6月21日には愛私幼のキャラバン隊による説明会が学内で開かれましたが、今一つ盛り上がりを欠いた印象がありました(もともと、後者の開催日時には教職免許の取得に関するガイダンスがバッティングしてはありましたが…)。2011年度卒業者の最終就職率は95%程度でした。昨年度実績を上回る就職率を達成するためにも、学生諸君の一層の奮起と教職員からの強い支援とが、今まで以上に必要のように思われました。

(6) オープンキャンパス等

6月16日に第1回のオープンキャンパスが、7月21日に第2回のそれが行われました。第1回は昨年度を若干上回る86名の参加者がありましたが、第2回は悪天候が災いしたのか、やや少なめの83名の参加者になりました(前年度同期の参加者は90名)。第3回は8月25日に予定されていますが、9月2日のAO入試のエントリーを皮切りに各種の入試が行われる時期を迎えました。良い受験生が大勢集まることを期待しております。

人間発達学部長 佐藤勝利

学生部報告

学部を超えたコミュニケーション、仲間づくり
～ 学外授業の効用 ～

この夏休み学外授業「夏季アウトドアスポーツ教室」で学生を引率しました。東西キャンパス人数の偏りはあるものの全学部から33名の学生が参加しました。

美しい山々、澄みわたる空気の中で、みんな楽しくそして真剣に一生懸命パラグライダーとウォールクライミングに挑戦しました。宿舎ではパラグライダーとウォールクライミングのレクチャーとミーティング、そして部屋割りを学部や友達関係とは関係なく振り分けました。

学生は友達通りで参加しているものが多く、一緒になることを希望します。学外授業の狙いの一つに、学部を超えたコミュニケーション、仲間づくりがあり、初めに、「嫌がらず、積極的に仲間づくりをしてください。」と宣言します。学生たちは、自己紹介から食事、実習、ミーティングを通して部屋単位から徐々に大きな単位の仲間が形成されます。“苦楽を共にし、おなじ釜の飯を食う”ことが仲間づくりにはとても重要な働きをしているのです。

近年、大学生の問題解決能力あるいはコミュニケーション能力が低下していると言われており、我々もそれを感じることは時々あります。しかし学生たちのほとん

どはその能力が低いのではなく、あえて仲間づくりやコミュニケーションする機会を持つとしないだけなのです。4年間の学生生活は、長いようであつという間の期間です。その間に「自分とは何か」、「どう生きるのか」を考え、方向性を見つけるのに、多くの様々な仲間と交流することはとても重要なことです。

学生たちがより充実した学生生活が送れるように、学部を超えたコミュニケーション、仲間づくりの機会を多く作っていききたいと思います。

学生部長 菅嶋康浩



■2012年度学生数

2012年5月1日現在 総学生数 2,420人

学 部	学 科	1 年			2 年			3 年			4 年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
音 楽 学 部	演 奏 学 科	12	65	77	15	51	66	13	52	65	14	72	86	294
	音 楽 文 化 創 造 学 科	25	46	71	35	39	74	29	47	76	31	56	87	308
	音 楽 学 部 小 合 計	37	111	148	50	90	140	42	99	141	45	128	173	602
美 術 学 部	美 術 学 科	17	78	95	28	94	122	23	103	126	26	104	130	473
	絵 画 科 日 本 画	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	3
	絵 画 科 洋 画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	造 形 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	3
	美 術 文 化 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	3
美 術 学 部 小 合 計	17	78	95	28	95	123	23	103	126	31	108	139	483	
デ ザ イン 学 部	デ ザ イン 学 科	51	148	199	44	146	190	50	124	174	47	151	198	761
	デ ザ イン 学 部 小 合 計	51	148	199	44	146	190	50	124	174	47	151	198	761
人 間 発 達 学 部	子 ども 発 達 学 科	40	81	121	37	94	131	30	89	119	46	84	130	501
	子 ども 発 達 学 科 小 合 計	40	81	121	37	94	131	30	89	119	46	84	130	501
学 部 生 合 計		145	418	563	159	425	584	297	415	560	169	471	640	2347

研 究 科	1 年			2 年			合計
	男	女	計	男	女	計	
音 楽 研 究 科	2	4	6	3	7	10	16
美 術 研 究 科	3	13	16	7	12	19	35
デ ザ イン 研 究 科	5	3	8	3	6	9	17
人 間 発 達 学 研 究 科	0	3	3	1	1	2	5
大 学 院 生 合 計	10	23	33	14	26	40	73

2012年度 年間行事予定表【音楽学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	日	音楽総合1年セミナー(4/1~4/2)
	2	月	↓ オリエンテーション(4/2~4/7)
	4	水	入学式
	7	土	健康診断・新入生歓迎会 ↓
	9	月	前期授業開始
	11	水	履修登録訂正期間(4/11~4/13)
	↓		
	13	金	↓
5月	30	月	休校 振替休日
	1	火	休校 開学記念日
	2	水	休校 臨時休業日
	3	木	休校 憲法記念日
	4	金	休校 みどりの日
	5	土	休校 こどもの日
	20	日	後援会総会
6月	16	土	オープンキャンパス
	20	水	前期実技試験曲目提出期間(6/20~7/3)
	↓		
7月	3	火	↓
	16	月	海の日 授業日
	21	土	オープンキャンパス
	28	土	夏期音楽講習会(7/28~7/31)
	30	月	試験期間(7/30~8/3)
	↓		
	31	火	↓
8月	3	金	↓
	4	土	試験予備日
	6	月	実技試験(8/6~8/7)
	7	日	↓
	8	水	集中講義期間(8/8~8/10)
	↓		
	10	水	↓
	17	金	前期試験合否発表(13:00)
	20	月	集中講義期間(8/20~8/24)
	22	水	↓ 追再試験(8/22~8/24)
↓			
24	金	↓	
31	金	前期追再試験合否発表(13:00)	
9月	9	日	AO入試受験診断日
	13	木	後期オリエンテーション(9/13~9/14)
	14	金	↓
月	日	曜日	後期行事予定
9月	20	木	後期授業開始
	30	日	オープンキャンパス

10月	7	日	AO入試
	8	月	体育の日 授業日
	24	水	防災訓練
	25	木	芸大祭(10/25~10/27)
	↓		※休講
	27	土	↓
11月	3	土	休校 文化の日
	10	土	推薦入試、指定校・3年編入前期試験
	15	木	第1回就職報告懇談会
	22	木	休校 学院創立記念日
	23	金	休校 勤労感謝の日
	26	月	後期実技試験曲目提出期間(11/26~12/8)
12月	1	土	大学院A日程入試
	8	木	↓
	24	月	振替休日 授業日
	25	火	補講集中講義期間(12/25~12/28) 冬期一斉休業期間(12/25~1/3)
	↓		
	28	金	↓
1月	29	土	閉校(12/29~1/6)
	↓		
	3	木	↓
	6	日	↓
	14	月	休校 成人の日
	21	月	実技試験期間(1/21~1/23)
2月	↓		
	23	水	↓
	28	月	後期試験期間(1/28~2/1)
	↓		
	1	金	↓
	4	月	試験予備日
3月	5	火	A日程・社会人・留学生入試(2/5~2/6)
	6	水	↓ 特待生入試・3年編入後期試験
	11	月	休校 建国記念の日
	13	水	後期試験合否発表(13:00)
	14	木	集中講義期間(2/14~2/20)
	↓		
	18	月	↓ 追再試験(2/18~2/20)
	↓		
	20	火	↓
	27	水	追再試験合否発表(13:00)
28	木	卒業演奏会(2/28~3/1)	
3月	1	金	↓
	6	水	卒業判定会議
	12	火	研究生入試
	13	水	進級判定会議
	20	水	休校 春分の日
	22	金	卒業式
	25	月	B日程・社会人・留学生・大学院B日程入試

2012年度 年間行事予定表【美術学部・デザイン学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	2	月	前期オリエンテーション(4/2~4/7)
		火	
	4	水	入学式
	5	木	Web履修登録(新4年生)
	6	金	Web履修登録(新2-3年生)
	7	土	Web履修登録(新1年生) ↓ 新入生歓迎会
	9	月	授業開始
	29	日	休日 昭和の日
	30	月	休日 振替休日
5月	1	火	休日 開学記念日
	2	水	休日 臨時休業日
	3	木	休日 憲法記念日
	4	金	休日 みどりの日
	5	土	休日 こどもの日
6月	8	金	教育懇談会
	16	土	オープンキャンパス
7月	16	月	授業実施日 オープンキャンパス 海の日
	21	土	第1回体験授業
	27	金	前期授業終了
	28	土	第2回体験授業
	29	日	一日芸大生
	30	月	前期試験期間(7/30~8/3)
		火	
8月	3	金	↓
	4	土	前期試験予備日
	8	水	前期補講・集中期間(8/8~8/10)
		木	
	10	金	↓
	13	月	成績伝票提出締切(教員)
	17	金	前期試験合否発表
	20	月	前期補講・集中講義期間(8/20~8/24)
		火	
	22	水	追再試験期間(8/22~8/24)
		木	
24	金	↓	
25	土	AO入試	
28	火	追再試験成績伝票提出締切(教員)	
31	金	前期追再試験合否発表(13:00)	
月	日	曜日	後期行事予定
9月	17	月	休日 敬老の日
	18	火	後期オリエンテーション
	19	水	↓
	22	土	休日 秋分の日
	26	水	9月卒業判定会議
	30	日	オープンキャンパス

10月	2	火	9月卒業式
	8	月	授業実施日 体育の日
	25	木	芸大祭(10/25~10/27)
		火	↓ ※休講
	27	土	↓
	28	日	芸大祭後片付け
11月	3	土	休日 文化の日
	4	日	推薦・指定校推薦入試
	10	土	大学院Ⅰ期・3年編入Ⅰ期入試
	22	木	休日 学院創立記念日
	23	金	休日 勤労感謝の日
12月	1	土	浜松・金沢地域入試
	23	日	休日 天皇誕生日
	24	月	授業実施日 振替休日
	25	火	後期補講・集中期間(12/25~12/28)
		水	↓
	28	金	↓
	29	土	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)
		日	↓
1月	1	日	元旦
	3	火	↓
	14	月	休日 成人の日
	21	月	後期補講・集中期間(1/21~1/23)
		火	↓
	23	水	↓
	28	月	後期試験期間(1/28~2/1)
		火	↓
2月	1	金	↓
	4	月	試験予備日
	5	火	A日程・社会人・留学生入試(2/5~2/6)
	6	水	↓ ※美術学部のA日程は2/5のみ
	7	木	成績伝票提出締切(教員)
	11	月	休日 建国記念日 社会人入試・3年編入Ⅱ期入試
	12	火	研修生入試・大学院Ⅱ期入試
	13	水	後期試験合否発表
	14	木	後期補講・集中期間(2/14~2/20)
		火	↓
	18	月	後期追再試験期間(2/18~2/20)
		火	↓
	20	水	↓
	25	月	追再試験成績伝票提出締切(教員)
	27	水	後期追再試験合否発表
3月	6	水	卒業判定会議
	12	火	転学部・転科転コース、研究生入試
	13	水	進級判定会議
	15	金	B日程入試(デザイン学部)
	20	水	休日 春分の日
	22	金	卒業式
	24	日	オープンキャンパス
	25	月	B日程入試(美術学部)

2012年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	3	火	オリエンテーション(4/3~4/7)
	4	水	入学式
	5	木	1年生オリエンテーション合宿(4/5~4/6)
	6	金	
	7	土	健康診断・新入生歓迎会
	9	月	前期授業開始
	11	水	履修登録訂正期間(4/11~4/13)
	13	金	
	30	月	休校 振替休日
	5月	1	火
2		水	休校 臨時休業日
3		木	休校 憲法記念日
4		金	休校 みどりの日
5		土	休校 こどもの日
20		日	後援会総会
6月		2	土
	16	土	オープンキャンパス
7月	16	月	海の日 授業日
	21	土	オープンキャンパス
	30	月	試験期間(7/30~8/3)
8月	3	金	
	4	土	試験予備日
	8	水	集中講義期間(8/8~8/10)
	10	水	
	17	金	前期試験合否発表(13:00)
	20	月	集中講義期間(8/20~8/24)
	22	水	追再試験(8/22~8/24)
	24	金	
	25	土	オープンキャンパス
	31	金	前期追再試験合否発表(13:00)
9月	1	土	実習・就職支援対策セミナー
	6	木	後期オリエンテーション(9/6~9/7)
	7	金	
	10	月	2年生保育実習 I (9/10~9/22) 3年生幼稚園実習(9/10~9/29)
月	日	曜日	後期行事予定
9月	20	木	後期授業開始
	22	土	
	29	土	
	30	日	オープンキャンパス

10月	1	月	教育実習(小学校)(10/1~10/27)
	7	日	AO入試・大学院一次入試
	8	月	体育の日 授業日
	13	土	特別公開講座
	24	水	防災訓練
	25	木	芸大祭(10/25~10/27)
	27	土	※休講
11月	3	土	休校 文化の日
	10	土	推薦A入試、指定校・3年編入A入試
	15	木	第1回就職報告懇談会
	22	木	休校 学院創立記念日
12月	23	金	休校 勤労感謝の日
	1	土	推薦B入試、社会人、大学院二次入試
	19	水	卒業研究提出期限(15:00)
	24	月	振替休日 授業日
	25	火	補講集中講義期間(12/25~12/28)
	28	金	
	29	土	閉校(12/29~1/6)
1月	6	日	
	14	月	休校 成人の日
	17	木	第2回就職報告懇談会
	21	月	補講・集中講義期間(1/21~1/23)
	23	水	
	28	月	後期試験期間(1/28~2/1)
	2月	1	金
4		月	試験予備日、卒論発表会
5		火	一般A入試(2/5~2/6)
6		水	
11		月	休校 建国記念日
13		水	後期試験合否発表(13:00)
14		木	集中講義期間(2/14~2/20)
18		月	追再試験(2/18~2/20) 保育実習Ⅱ(2/18~3/2)
20		火	
27		水	追再試験合否発表(13:00)
3月	2	土	
	4	月	2年追再試験(3/4~3/5)
	5	火	ヨーロッパ研修セミナー(3/5~3/16)
	6	水	卒業判定会議
	9	土	大学院三次入試
	11	月	2年追再試験合否発表(13:00)
	12	火	一般B入試・3年編入B入試・ 研究生入試
	13	水	進級判定会議
	16	土	
	22	金	卒業式

2012年度 入学式

あいにくの雨模様で、この時期としては肌寒さの残る4月4日、2012年度名古屋芸術大学入学式が本学西キャンパス体育館で行われました。

学部入学生(音楽・美術・デザイン・人間発達学部)と大学院入学生(音楽・美術・デザイン・人間発達学研究科)が着席し、その保護者の方々や来賓の皆様をお迎えした会場で、開式に先立ち、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラにより、曲名:アルセナール(作曲:ヤン・ヴァン・デル・ロースト)が式前演奏されました。

定刻を迎え、開式のことばに続いて、竹本義明学長から学部・大学院入学生の「入学許可」が宣言されました。この後、学長が式辞に立ち、大学を代表して出席者に祝辞を述べられました。学長は式辞の中で「文化・芸術は、多くの人類共通の歴史的遺産を創生し、それが人類の発展に多大な貢献をしてきました。文化・芸術を学ぶことにより、豊かな教養を身につけ、創造力を高める能力を養うことができます。いわゆる、創造性、感性、そして発想力を高め、社会において必要とされるバランス感覚やコミュニケーション能力を兼ね備えた人材の輩出が可能となります。昨年からは本学はカリキュラムの改革を進めており、社



会や学生の皆さんのニーズに対応すべく本年度からは、総合的な教養科目とも言うべき全学共通教育科目が開講されます。これにより、皆さんはこれまで以上視野を広げる多様な科目を選択できるようになります。また、自由選択単位の導入により、教養を備えた専門人として、知性と感性のバランスを育むことができます。入学された皆さんは、今日から、卒業後・修了後の自らの姿を思い描きながら、目標や計画を持って大学生生活のスタートを切っていただきたい。」と激励されました。

続いて、入学生代表による宣誓が行われました。大学院の代表と、学部の代表の学生が力強く宣誓を行いました。



この後、本学の設置法人である学校法人名古屋自由学院の理事長、川村大介氏が挨拶を行い、続いて、来賓を代表して北名古屋市長、長瀬保氏の入学生を激励する祝辞「芸術家を目指す若者たちよ、教師を目指す若者たちよ、自らの意思で、果敢に挑戦し、掴み取れ。たとえイバラの道であっても…」が、教育長の吉田文明氏より代読されました。

そして、ご出席の来賓の皆様のご紹介を行い、最後に、本学教員役職者を紹介して式典を終了しました。

式典終了後は、再び、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラにより、新入生歓迎演奏が行われました。音楽学部演奏学科竹内雅一教授の指揮により、フィリップ・スパーク作曲「ノッティンガム・フェスティバル」が演奏されました。オーケストラの音色が会場一杯に響き、芸術大学ならではの趣のある入学式となりました。

大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号	
学納金(学費)について	庶務会計課	東キャンパス (音楽学部・人間発達学部) 0568-24-0315 (代)	
成績について 証明書発行について	教務課		
休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 就職について 資格取得講座について アルバイトについて その他学生生活全般について	学生支援課		
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課		
教員免許・学芸員資格について	教職センター(実習指導室)		
交換留学について	国際交流センター(学生支援課)		
生涯学習講座について	生涯学習センター(学院広報室)		0568-24-0359 (直通)
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課		東キャンパス 0568-24-5141 (直通)
アート&デザインセンターで開催 する展覧会について	アート&デザインセンター		西キャンパス 0568-24-0325 (代表)
後援会について	事務局(事務部長)		東キャンパス 0568-24-0315 (代表)

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報に含まれる内容に関しては、ご子女の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることができませんので悪しからずご承知おきください。

なお、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。



就 職 セ ミ ナ ー の 紹 介

学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っていますので、気軽に利用してください。※就職課では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

2012年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

《音楽学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象
4	全学年	第1回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	1年生	大学生基礎力一斉テスト	
	2年生	大学生基礎力一斉テスト	
	2・3・4年生	カワイ音楽講師・グレード試験学内説明会	音楽講師希望者
	4年生	作文添削	
	4年生	就職用写真撮影	
	4年生	就職活動について	一般企業希望者
5	4年生	面接対策講座(総まとめ)・模擬面接	就職希望者
	全学年	第2回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	1年生	キャリアガイダンスⅠ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅰ)	
	2年生	進路選択準備ガイダンスⅡ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅰ)	
	2年生	進路選択準備ガイダンスⅡ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅱ)	
	2・3・4年生	ヤマハグレード試験・システム講師・PMS講師学内説明会	音楽講師希望者
	3年生	第1回就職ガイダンス卒業後の進路について / 自己分析テスト	
6	4年生	教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員
	4年生	作文添削	
	1年生	キャリアガイダンスⅠ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅱ)	
	3年生	第2回就職ガイダンス就職模擬試験(一般常識テスト)	
7	3年生	第3回就職ガイダンス 自己分析テストの返却・解説	
	4年生	作文添削	
	全学年	第3回 就職支援・資格取得講座受付	
	3年生	第4回就職ガイダンス 業界・業種研究	
8	3年生	第5回就職ガイダンス 就職模擬試験(テスト一般常識)結果返却	
	4年生	マナー講座(総まとめ)	
9	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	
10	全学年	第4回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	1年生	後期からの大学生生活の進め方	
	3年生	就職活動の進め方【基礎編】	
	3年生	履歴書の書き方	
	3・4年生	作文添削	
11	全学年	第5回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	2年生	今から始める進路選択 (就職活動)	
	3年生	就職模擬試験(SPI)十解説	
	3・4年生	作文添削	
12	4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会	講師希望者
	3年生	面接対策講座・模擬面接	
	3・4年生	作文添削	
1	3年生	就職活動のマナー・ルール・手紙	
	全学年	第6回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
2	3年生	就職活動の進め方【実践編】(進路別)	
	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	
3	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	

《美術学部・デザイン学部》

月	学年	講座内容	対象
4	3年生・大学院1年生	第1回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(状況調査・現状と今後について)	美術学部・デザイン学部
5	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職活動における今後のスケジュール)	美術学部・デザイン学部
		夏季インターンシップ<ガイダンス授業>・春季インターンシップ<事後研修>	インターンシップ参加者
		夏季インターンシップ<業種・職種・企業研究 実習エントリーシートの作成>	インターンシップ参加者
		夏季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者
	4年生・大学院2年生	第2回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
6	1年生	キャリアガイダンス(大学生基礎力調査Ⅰテスト説明会)	美術学部・デザイン学部
		キャリアガイダンス(学びと社会について考える)	美術学部・デザイン学部
	2年生	キャリアガイダンス(大学生基礎力調査Ⅱテスト説明会)	美術学部・デザイン学部
		キャリアガイダンス(学びと社会について考える)	美術学部・デザイン学部
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職活動の流れ・進路調査)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(就職適性・自己分析テストの実施)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座①)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座②)	美術学部・デザイン学部
	4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(就職リスタートガイダンス)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(ハローワーク説明会)	美術学部・デザイン学部
7	3年生・大学院1年生	第3回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座③)	美術学部・デザイン学部
		夏季インターンシップ<ビジネスマナー講座(事前研修)>	インターンシップ参加者
8 9	3年生・大学院1年生	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者
		夏季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者
9	3年生・大学院1年生	第4回 就職支援・資格取得講座 受付 就職ガイダンス(求人の方、エントリーシートの書き方)	講座受講希望者 美術学部・デザイン学部
10	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(エントリーシート攻略テスト)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座③)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(適性試験対策)	美術学部・デザイン学部
11	2年生	キャリアガイダンス(進路選択に係る今後のスケジュール等について)	美術学部・デザイン学部
		キャリアガイダンス(美術デザイン業界・職種など)	美術学部・デザイン学部
		キャリアガイダンス(履歴書の書き方など)	美術学部・デザイン学部
	3年生・大学院1年生	第5回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
		就職ガイダンス(SPI模擬試験テスト)	美術学部・デザイン学部
		春季インターンシップ<ガイダンス授業>・夏季インターンシップ<事後研修>	インターンシップ参加者
		春季インターンシップ<業種・職種・企業研究 実習エントリーシートの作成>	インターンシップ参加者
春季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者		
就職ガイダンス(就職活動の進め方・就職ナビの活用)	美術学部・デザイン学部		
12	1年生	キャリアガイダンス(企業講演会)	美術学部・デザイン学部
	2年生	キャリアガイダンス(今の自分について考えてみよう)	美術学部・デザイン学部
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(面接試験対策)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(ビジネスマナー講座①)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(ビジネスマナー講座②)	美術学部・デザイン学部
就職ガイダンス(SPI模擬試験テスト説明会)	美術学部・デザイン学部		
1 3	3年生・大学院1年生	第6回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
		春季インターンシップ<ビジネスマナー講座(事前研修)>	インターンシップ参加者
		学内企業説明会期間	美術学部・デザイン学部
		各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者
春季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者		
2	4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(ハローワーク登録会)	美術学部・デザイン学部
4	3年生・大学院1年生	就職活動オリエンテーション(新4年生)	美術学部・デザイン学部
5	3年生・大学院1年生	春季インターンシップ<フォローアップ授業(事後研修)>	インターンシップ参加者

《人間発達学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象
4	全学年	第1回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	1年生	大学生基礎力一斉テスト	
	2年生	大学生基礎力一斉テスト	
	4年生	作文添削	
	4年生	就職用写真撮影	
	4年生	就職活動について(進路別)	
	4年生	面接対策講座(総まとめ)・模擬面接	
5	全学年	第2回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	1年生	キャリアガイダンスⅠ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅰ)	
	2年生	進路選択準備ガイダンスⅡ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅰ)	
	2年生	進路選択準備ガイダンスⅡ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅱ)	
	3年生	第1回就職ガイダンス卒業後の進路について / 自己分析テスト	
	4年生	教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員
	4年生	公務員試験説明会(保育職)	公務員(保育職)希望者
	4年生	愛知県外学生就職説明会(幼稚園・保育所)	県外幼稚園・保育所希望者
6	4年生	作文添削	
	1年生	キャリアガイダンスⅠ(大学生基礎力一斉テスト結果解説Ⅱ)	
	3年生	第2回就職ガイダンス就職模擬試験(一般常識テスト)	
	3年生	第3回就職ガイダンス 自己分析テストの返却・解説	
	4年生	愛知県私立幼稚園連盟統一試験学内説明会	愛知県私立幼稚園受験者
	4年生	愛知県私立幼稚園教員採用説明会(PRキャラバン隊)	愛知県私立幼稚園受験者
7	4年生	作文添削	
	全学年	第3回 就職支援・資格取得講座受付	
	3年生	第4回就職ガイダンス 業界・業種研究	
	3年生	第5回就職ガイダンス 就職模擬試験(テスト一般常識)結果返却	
	4年生	夏期休業期間中の就職活動について	
8	4年生	マナー講座(総まとめ)	
	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	
9	全学年	第4回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
10	1年生	後期からの大学生活の進め方	
	3年生	就職活動の進め方【基礎編】	
	3年生	履歴書の書き方	
	3・4年生	作文添削	
11	全学年	第5回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	2年生	今から始める進路選択(就職活動)	
	3年生	公務員採用試験説明会(保育職)	公務員(保育職)希望者
	3年生	就職模擬試験(SPⅠ)+解説	
	3・4年生	作文添削	
	4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会	講師希望者
12	3年生	面接対策講座・模擬面接	
	3・4年生	作文添削	
	3年生	就職活動のマナー・ルール・手紙	
1	全学年	第6回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者希望者
	3年生	就職活動の進め方【実践編】(進路別)	
2	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	
3	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	

■2011年度 音楽学部進路状況

2012年6月30日現在

		演奏		音楽文化創造		合計		総計
		男	女	男	女	男	女	
就職関係	公立学校教員	0	1	0	0	0	1	1
	公立学校非常勤講師	0	3	0	3	0	6	6
	公立学校非常勤講師	0	2	0	2	0	4	4
	公立学校介護員	0	0	0	0	0	0	0
	私立学校教員	0	0	0	0	0	0	0
	私立学校非常勤講師	0	0	0	0	0	0	0
	私立学校非常勤講師	0	0	0	1	0	1	1
小計		0	6	0	6	0	12	12
福祉関係	福祉施設等	0	0	0	4	0	4	4
小計		0	0	0	4	0	4	4
音楽講師	ヤマハ・カワイ講師	0	6	0	1	0	7	7
	楽器店講師	0	7	1	1	1	8	9
	自宅教室(ピアノ)	0	0	1	0	1	0	1
	自宅教室(他)	0	0	0	0	0	0	0
	幼稚園・保育所	0	0	0	0	0	0	0
小計		0	13	2	2	2	15	17
音楽家	奏者(フリー)	1	7	8	10	9	17	26
	ミュージカル・アーティスト	0	0	1	1	1	1	2
小計		1	7	9	11	10	18	28
一般企業		4	3	6	19	10	22	32
各種団体等		0	0	0	0	0	0	0
小計		4	3	6	19	10	22	32
公務員	行政職	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
小計		0	0	0	0	0	0	0
合計		5	29	17	42	22	71	93
進学	大学院	0	1	1	0	1	1	2
	研究生	2	11	1	1	3	12	15
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0
	その他(大学・専門等)	0	0	0	0	0	0	0
合計		2	12	2	1	4	13	17
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	0	0	2	0	2	2
	その他	0	14	6	9	6	23	29
合計		0	14	6	11	6	25	31
活動中(調査中)	講師登録・その他	1	6	5	1	6	7	13
合計		1	6	5	1	6	7	13
総合計		8	61	30	55	38	116	154

卒業生数(9月卒業7名含む)	8	61	30	55	38	116	154
就職・進学希望者数	8	47	24	44	32	91	123
就職・進学者数	7	41	19	43	26	84	110
就職・進学率	88%	87%	79%	98%	81%	92%	89%
	87%	91%	89%				

■2011年度 美術学部進路状況

2012年5月1日現在

		日本画コース		洋画1・2コース		洋画科コース		彫塑・立体造形・陶芸・ガラス		造形科陶芸・ガラス・造形		アートワイクコース・版画コース		美術学選択コース		美術文化学科美術文化コース		合計		総計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
就職(一般企業等(産業別))	製造業(印刷・関連業)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2
	製造業(輸送用機械器具)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	製造業(その他美術関連)	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	3
	卸売業・小売業	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	6	7
	サービス業(デザイン業等)	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	6	1	0	0	0	2	10	12
	その他業種(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	作家活動	1	5	0	11	2	0	1	2	1	1	0	2	0	0	0	0	5	21	26
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		1	8	0	19	3	1	2	2	1	1	10	2	0	0	0	9	41	50	
就職関係	公立学校教員関係	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	3	5	
	私立学校教員関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	3	5	
公務員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		1	10	0	20	3	1	2	2	1	1	2	10	2	0	0	11	44	55	
進学	大学院	1	4	1	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	11	13	
	研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(専門)	0	1	0	1	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	3	4	7	
合計		1	5	1	6	1	0	1	2	0	0	2	3	0	0	0	6	16	22	
就職希望なし	結婚・家事・自宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	4	
合計		0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	4	
就職活動中	講師登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	2	1	10	0	1	0	2	0	1	1	1	0	2	0	2	2	21	23
合計		0	2	1	10	0	1	0	2	0	1	1	1	0	2	0	2	2	21	23
総合計		2	18	2	38	4	2	3	6	1	2	5	14	2	3	0	2	19	85	104

卒業生数	2	18	2	38	4	2	3	6	1	2	5	14	2	3	0	2	19	85	104
就職・進学希望者数	2	17	2	36	4	2	3	6	1	2	5	14	2	2	0	2	19	81	100
就職・進学者数	2	15	1	26	4	1	3	4	1	1	4	13	2	0	0	0	17	60	77
就職・進学率	100%	88%	50%	72%	100%	50%	100%	67%	100%	50%	80%	93%	100%	0%		0%	89%	74%	77.0%
	89.5%	71.1%	83.3%	77.8%	66.7%	89.5%	50.0%	0.0%	77.0%										

■2011年度 デザイン学部進路状況

2012年5月1日現在

		3ブロック						LSブロック		合計		総計	
		MCブロック		PSブロック		Oブロック		男	女	男	女		
		男	女	男	女	男	女						
就	一般企業等(産業界)	製造業(印刷・同関連業)	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	5
		製造業(輸送用機械器具)	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
		製造業(その他美術関連)	0	1	5	9	0	1	0	0	5	11	16
		卸売業・小売業	0	0	0	0	1	8	1	0	2	8	10
		サービス業(デザイン業等)	10	18	1	1	0	0	2	2	13	21	34
		その他業種(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		作家活動	0	9	0	1	3	12	2	1	5	23	28
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	10	33	7	11	4	21	5	3	26	68	94	
	職	教職関係	公立学校教員関係	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2
私立学校教員関係			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	2	0	0	0	0	0	0	2	2		
公務員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	10	35	7	11	4	21	5	3	26	70	96		
進	大学院	1	0	0	0	1	0	2	0	4	0	4	
	研究生	0	0	2	1	0	2	1	0	3	3	6	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(専門)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
合計	3	0	2	1	1	2	3	0	9	3	12		
就職希望なし	結婚・家事・自宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	2	0	0	1	0	0	0	1	2	3	
合計	0	2	0	0	1	0	0	0	1	2	3		
就職活動中	講師登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	2	22	3	5	0	3	1	4	6	34	40	
合計	2	22	3	5	0	3	1	4	6	34	40		
総合計	15	59	12	17	6	26	9	7	42	109	151		

卒業生数	15	59	12	17	6	26	9	7	42	109	151
就職希望者数	15	57	12	17	5	26	9	7	41	107	148
就職者数	13	35	9	12	5	23	8	3	35	73	108
就職率	87%	61%	75%	71%	100%	88%	89%	43%	85%	68%	73.0%
	66.7%	72.4%	90.3%	68.8%	73.0%						

■2011年度 人間発達学部進路状況

2012年6月30日現在

		子ども発達学科		総計	
		男	女		
就	教職関係	公立学校教員	0	3	3
		公立学校常勤講師	5	5	10
		公立学校非常勤講師	1	2	3
		公立幼稚園教員	0	0	0
		私立学校教員	0	0	0
		私立学校常勤講師	0	0	0
		私立学校非常勤講師	1	0	1
		私立幼稚園教員	2	34	36
小計	9	44	53		
職	福祉関係	公立保育所(正職)	1	8	9
		公立保育所(臨職)	2	2	4
		私立保育所	4	38	42
		福祉施設(保育士等)	1	14	15
		学童保育所(クラブ)	1	0	1
小計	9	62	71		
一般企業	2	12	14		
各種団体等	0	0	0		
小計	2	12	14		
公務員	行政職	0	0	0	
小計	0	0	0		
合計	20	118	138		
進	大学院	0	1	1	
	研究生	0	0	0	
	海外(留学)	0	0	0	
	その他(大学・専門等)	1	2	3	
合計	1	3	4		
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	1	1	
	その他	2	3	5	
合計	2	4	6		
活動中(調査中)	講師登録・その他	7	0	7	
合計	7	0	7		
総合計	30	125	155		

卒業生数(9月卒業3名含む)	30	125	155
就職・進学希望者数	28	121	149
就職・進学者数	21	121	142
就職・進学率	75.0%	100.0%	95.3%

先輩の活躍



子どもたちから学ぶこと

2011年度 音楽学部 音楽文化創造学科
音楽教育コース卒業

大川知奈美

私は多治見市の笠原中学校で常勤講師として働いており、全10クラスの音楽と、1年生3クラスの数学をT2でやっています。

新学期がスタートして5ヶ月が経ちましたが、慣れない仕事に戸惑うことも多く、教材研究や行事の準備に追われ、あっという間に時間が過ぎていきます。毎日とても忙しいですが、子どもたちの笑顔に囲まれながら、充実した日々を過ごしています。

教員として子どもたちの前に立って授業をするようになってから、「相手に伝えることの難しさ」をよく感じます。「この言葉を使って説明すれば理解してもらえらう」と思っている、子どもたちには分かりにくい表現で、

なかなか理解してもらえないことも多々あります。教員の立場ではなく、子どもの立場に立って考えなければいけないと反省してばかりです。

授業の準備をしっかりとやったつもりでも、実際に授業をやってみるとうまくいかないことのほうが多く、自分の力のなさに落ち込み、子どもたちに申し訳ないことをしているなどよく思います。

失敗と反省を繰り返してばかりの日々ですが、子どもたちの笑顔を見ることができたり、授業ではあまり積極的に参加してくれない子どもが「先生、聞いて」と話しかけてくれると、とてもあたたかい気持ちになり、もっともっと頑張らなければいけないと強く思います。このように、日々子どもたちから多くのことを学んでいます。

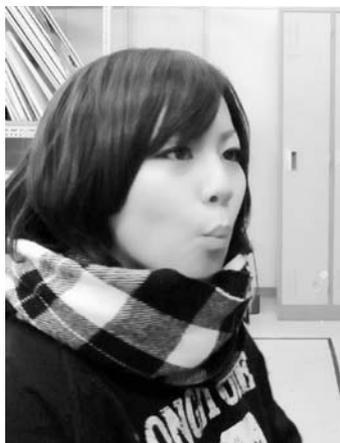
授業があまりうまくなくても、一生懸命な姿は伝わっていると思うので、子どもたちのためにも、授業力を向上させ、少しでも楽しいと思ってもらえるように勉強し続けていきたいです。そして、笑顔を忘れず、子ども1人ひとりの気持ちが分かる教員になりたいと思います。

(多治見市笠原中学校 勤務)

今と、そしてこの先

2011年度 美術学部
アートクリエイターコース卒業

谷田翔子



主にぬいぐるみなどの雑貨のデザインをしています。

どんな仕事をしているのかというと、1から商品を企画し、仕様を決め、色・素材を指定します。サンプルができれば細かい修正をして、パッケージやタグのデザインをして、全体の仕様が決まれば、商品を宣伝するためのカタログやPOPを作ります。商品を入れるダンボールのデザインをすることもあります。ざっといえばこんなかんじです。

たくさんの会議を重ねて、何度もサンプルに修正を加え、商品をより可愛くして世の中に送り出すというのは、子牛が生まれて、毎日ご飯をあげて、フンの世話をして、たまに一緒に遊んだりして育てた立派な牛をお披露目するのと同じことだと、大学3年生の時のインターンシップでお世話になった牛飼いさんを思い出しました。

当時は牛飼いななんて想像以上にエラいし、何の役に立つんだと思ってインターンに参加していましたが、全く違う業種でもどこかで繋がっているんだと今になって感じました。

まだ右も左も分からず、会社の皆さんや他社の皆さんにまで迷惑をかけまくっています。

PCソフトの使い方、縫製についての知識、ビジネスマナーなど、勉強しなきゃいけないことは山ほどあります。でもできるようになれば、私が作ったもので誰かに喜んでもらえる。あなたの幸せは私の幸せなんです。うふふ。

探り探りで皆さんの助けをお借りしながらなんとか仕事していますが、いつか私が作ったものでみなさんを喜ばせられるように修行します。頑張ります。へこたれませぬ。もしそうなった時は、ああ、あんなやつもいたなって、わたしの事を思い出してやってください。

(株式会社オオイケ 勤務)



成長し続けたい

2011年度 デザイン学部
デザイン学科卒業

金田磨巳

私は、本多プラス株式会社の営業部で働いています。4月に入社して、お客様のもてなし方やビジネスマナー、展示会のサポートやアート活動のお手伝いなど、幅広い経験をさせて頂いています。

当社は、「売るデザイナー」というデザイナーと、営業を分けてはいません。ですので、お客様と直接、お話ができ、一緒に商品をつくれる事が魅力です。そんな部署に配属が決まり、とても嬉しく思っています。先輩方が担当しているお客様は、有名な企業なども数多く、買い物に行くと当社のお手伝いした商品が目につきます。そんな事が、自分にもいつかできるようになったらと考えると、日々の仕事を頑張ることができそうです。

そこまでになるには、覚えなければならない事が沢山あり、今の自分の未熟さに、へこんでしまうことも度々あります。それでも、先輩方に励まされながら、丁寧に教えて下さる事に感謝して、仕事に取り組んでいます。

名古屋芸術大学は、個性豊かな人達が集まっている魅力的な大学です。色々な人達の思想に触れたことは、社会人になっても、とても役に立っています。私はコース以外の人と話す機会が多く、そこで運良くコミュニケーション力がついたと思っています。社会人になった今でも、それが活かされています。

営業部という事もあり、人と接する事は当たり前の事になるからです。大学時代に得たものはこんな当たり前の所で活かされています。

今はまだ、一人前の社会人になるため、学ぶことがとても多い日々ですが、憧れの先輩方が多くいるこの職場は、「成長したい」と思わせてくれます。学生時代に得たものを活かしながら、そしてチャレンジをする事を忘れず社会人として成長し続けたいと思っています。

(本多プラス株式会社営業部 勤務)

悩んだ時間は無駄にはならない

2011年度 人間発達学部卒業
子ども発達学科卒業

徳永朱音

私は今年の4月から扶桑町にある扶桑幼稚園で年長児の副担任として働いています。副担任と言っても教師の仕事覚えて行く為に主になって子ども達の指導をさせて頂いています。

扶桑幼稚園では豊かな人間性を育ていけるように毎日の活動の中で全園児が百玉算盤と漢字絵本に取り組んでいます。また学習面だけではなく1週間の中で音楽教室、体育教室、和太鼓教室、絵画教室と多くのことを経験することができます。

中でも和太鼓の活動は私が扶桑幼稚園を選ぶ決め手となった一つでもあり大学中にサークルで経験してきた大好きな活動でもあります。その和太鼓を練習期間でなかなかリズムが覚えられない子、普段大人しくあまり話さない子、そんな子ども達が力強く太鼓を叩いて演奏する姿は本当に感動します。

これらの活動を通して子ども達の様子を感じ取ることも教師として大切な事だと感じるようになりました。

就職してから5カ月が過ぎようとしています。一度も辞めたいと思ったことはありません。それは、毎日大好きな子ども達と大好きな歌をうたったり、園庭で体を動かしたり、一緒に学習したり、さらには大学在学中に経験した和太鼓も子ども達と取り組めたりと、この園では自

分の好きな事を仕事としてできているという充実感を感じることができているからです。充実感がなければ今の私ではないかもしれません。なので、大学中にたくさん迷って悩んで決めた時間は無駄にはならなかったのだと今感じています。これからも子ども達の憧れの存在となるように楽しみながら教師という仕事を続けたいと思います。

(扶桑町扶桑幼稚園 勤務)





University of Brighton
Degree Show

Brighton University デイグリーショーに参加して

後援会会長 萩 達也

Brighton University デイグリーショー2012「UP AND BEYOND」の出張報告をさせていただきます。

本年は落合デザイン学部長、傍島美術学部教授、国際交流担当加藤多美子氏と共に後援会代表として参加させて頂きました。

6月6日(火)、成田経由でヒースロー空港に到着すると早速 Brighton University へ移動しました。 Brighton 市はロンドンから約80km南のドーバー海峡を臨む風光明媚なリゾート地です。歴史は古く、旧王室宮殿や商業施設の他、洒落た骨董品店が印象的でした。小高い丘の市街地に Brighton University 美術学部があります。



Brighton University

受賞学生



Brightonの街並

デイグリーショーとは美術学部生の卒業作品展覧会のことです。6月9日(土)から14日(木)まで開催されました。滞在中、国際交流担当加藤多美子氏の通訳、現地事情に詳しい河野先生のお力添えでデイグリーショーに臨みました。我々一行は7日(日)に予めノミネートされた作品をソウル大学関係者と共に見て回り、作品を審査しました。翌8日(金)は大学関係の招待客を集めた昼食会、夕方のレセプション(宴会)に招かれ、夜10時まで作品内覧会が行われました。現地は夜8時を過ぎても空は明るく一日が長く感じられました。

9日(土)はデイグリーショー初日で、最初に Brighton University 関係者による様々な表彰式が挙行されました。

満席の会場演壇に上がった受賞学生には大きな拍手が寄せられました。ソウル大学に続き最後に名古屋芸術大学が各賞を授与しました。後援会代表の筆者のコメント後、大学を代表し落合学部長がご挨拶、傍島教授が総評を述べられました。続いてレセプションが始まり、参加者が楽しく歓談しました。デイグリーショーはまだ続きましたが我々は任務を終えて翌日ロンドンに戻りました。現地はエリザベス女王在位60年祝賀行事を終え、オリンピックの準備で活気に満ちていました。全員無事に Brighton University 出張を終えることが出来、関係各位に深く感謝いたします。

International Student Infomation

熱烈歓迎：中国、英国、韓国、新嘉坡、台湾在留学生の歓迎会

2012.04.27（金）17：00pm～

西 campus は、学内 volunteer staff を募り、英語に堪能、中国語に堪能、韓国語に堪能な学生で、兎も角交換留学生との会話を楽しみたいとする在学学生20余名に助けられて本年の WELCOME PARTY（歓迎会）は4月27日（金）17:00pm より学生食堂北側スペースにて開催した。

従前は学部ごとに国際交流担当は歓迎会を開いてきたが本年は此の良い機会に東西留学生達が自然と交流し集えることを願って『人を繋ぐ意味を込めて』東 campus の国際交流事務を通じ東に学ぶ留学生や在学生の出席依頼をしたが side job 専念繁忙で折角の chance 不参加多し中で唯一、電子オルガンを学ぶ中国出身 Ms. DON G RUI HAN さんの出席があった。東西を繋ぐ上で唯一の望みが達成出来、最も好感すべき事に想います。

西 campus 内に学ぶ3年編入学生や学内留学生12名にも朗報を伝えましたが3名出席のみ。

『前期』来訪交換留学生は、英国：ブライトン大学より4女子学生が（4月5日（木）に3名、26日（木）に1名が LH736便早朝便08:25am 到着）来日しており、併せて8名の留学生を揃えて紹介をした。

3月末に6年勤務した前任者退職があり学内 A&DC にて海外招聘の ARTIST の通訳を長年務めて来られた人の新規採用があつて本年の国際交流業務は新体制で臨んでいる。誰とでも気さくに少しでも会話したい！英語や中国語、韓国語が話せなくとも其の空気の中に入って思いっきり enjoy したい！とする積極的な新1年生の partnership や collaboration（協力）心優しき support（援助）もあり、8日（日）桜咲く麗らけし名古屋城にも英国学生



を引率し一日を楽しんだ経過もあつて、留学生との交流は成功したかと想います。

担当者は拙い中国語、韓国語にて彼らを紹介し思わず苦笑する場面を紹介した様に想います。誰にとっても思わぬ言語が飛び出して、volunteer staff 学生や留学生達はびっくりした様子でした。学内関係者や彼らを支えてくれる心頼もしき人達の集まりに感謝します。

ささやかなりとも volunteer 学生の計らいで学内にて急遽手作りした限定の『おはぎ』や特製抹茶ムースなど食べ物を提供してくれて和気藹々とした空気に包まれて留学生を囲み会話を充分楽しむ事が、一杯できました。精一杯楽しんだ後のお片づけも率先して手伝い下さつて余韻残る室内で最後に集合記念撮影が施せた事も良い機会だったように想います。

熱烈歓迎：中国、英国、韓国、新嘉坡、台湾の在留学生歓迎会は大成功！と回想します。

開始早々集まり悪く慌てたが NUA 広報企画部担当者の経過撮影取材に感謝を致します。

学生支援課 国際交流センター 川島憲雄



クラブ・同好会紹介 〈東キャンパス〉

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	K A R A D A 研 究 会	音楽科・ピアノ科・総合各々の演奏に必要なパフォーマンスの筋力を鍛える為。
2	ジ ャ ズ 研 究 会	個々の楽器を持ち寄り、他人とセッションすることでスキルアップを図る。外部ではやらないような基礎から研究し、応用できるようにする。
3	Jampa Swing Orchestra	日々のトレーニングから楽器のスキルアップを図り、その結果として定期的なライブ活動を行なう。また、団体行動を通して協調性、社会的モラル、マナーなどを身につけ、心身・技術ともに向上することを目的とする。
4	ピ ン ボ ン ☆ ダ ッ シ ュ	卓球を通じて人間関係の輪を広げて、楽しく卓球をする。
5	フ ッ ト サ ル 部	フットサルを通して健全な身体を作るとともに、仲間との協調性を高め、大学生活を楽しむ。
6	フ ラ ウ ー シ ョ ッ ト テ ニ ス ク ラ ブ	テニスを通し、他学部・他学年との交流を深めるとともに、心身を鍛え、テニスを楽しみ、人間的に成長すること。
7	ミ ュ ー ジ ッ ク ボ ラ ン テ ィ ア	大学での授業の実習以外での音楽・音楽療法活動をする。
8	子 ど も 文 化 サ ー ク ル	子ども向けの作品を作ることや人形劇、読み聞かせの練習をして見識を深め施設に訪問して実践を行い経験を積み事を目的とします。
9	自 然 と 暮 ら し を 楽 し む 会	都会での人工的な生活に慣れて、人間の生活は自然の営みに支えられていることの実感を見失いがちになっています。今ならまだ身近にも発見できる、自然の不思議さ、逞しさを実感し、自然の恵みによって私たちの命と生活が成り立っていることを体感することができます。自然についての知識や技術を沢山たくわえ、次世代にも伝えていきます。
10	爆 音 楽 部	バンド活動をする人を集めて、お互いの活動を部でサポートし合い、競争をし切磋琢磨するためのサークルです。主な活動は学外のライブ活動ですが、下宿生やこれから楽器やバンド活動を始めたい学生のために人間的、物質的サポートをします。
11	バスケットボールZ (B・B・Z)	他学部、他キャンパス、他大学の人とバスケットボールを通して、コミュニケーションをとることを目標とし、お互いにバスケットボールのスキルアップを目指す。また、初心者の人たちに対するような指導をするといかなども知り、将来に役立つ知識もつける。
12	ル ー ディ メ ン ツ ク ラ ブ	インターナショナルルーディメンツ、コンテンポラリーハイブリッドドラムルーディメンツ等のあくまでも基本形を習得し、個々に対してのより合理的な奏法を確立することにより、表現の幅を広げ音楽的自立を目指す。
13	和 太 鼓 部	近隣の幼稚園や保育園、地域の祭などで演奏させていただき、その中で交流を深めることで、和太鼓の楽しさを少しでも多くの人々に伝えられるように精進して練習に励むため。
14	ワ ン ダ ー フ ォ ー ゲ ル (部 費 な し)	自然の中で活動することにより、自然界に関する様々な知識を学ぶ。また、活動する為の技術(野外設営・野外料理)を身につける。それらの知識を生かし、活動計画、装備の準備をし実行する。
15	ダ ンス サ ー ク ル	ダンスを通して仲間と体を動かし、楽しむことで自身の体力や体づくりをするるとともに、仲間たちとの交流を深める。また、ダンスサークルの芸大祭での発表において大学祭を盛り上げることで大学や学生生活に貢献する。
16	す くらん 部	八事日赤病院で子どもたちと工作をする活動や救急法などの資格取得、日本赤十字団体のイベントやボランティアなどに積極的に参加し、一社会人として協力する力・共生力を学び活動を楽しみながら少しでも社会貢献できるような人間になる。
17	リ ズ ム 体 操 部	「動いて、創って、指導して」をモットーに日々、自分自身のの身体作りをしながら体操やラートなどの演技や作品づくりをし、大会等で発表や指導をしながら、各自の動く技術や指導力を高めることを目的とする。
18	中 音 部	音楽を通して他学部・他学部の学生との交流を図る。ある目標に向かって全部院で取り組み、達成感を味わうとともに個々の技術の向上に努める。
19	冒 険 K I D ' S	自然豊かな岐阜県郡上八幡で春夏秋冬を通し、奨学生に自然とふれあう事の楽しさを伝え、一緒に学び、遊びながら「楽しく」「安全に」「予定通りに」サポートスタッフとして勤め、私たちが目指す将来に役立つ“何か”を学びとる。
20	人 間 発 達 学 部 吹 奏 楽 部 N o i s e b a n d	様々な行事で演奏し、音楽を通して子どもたちに音楽の楽しさを伝えるために活動する。
21	自 由 工 房	様々な児童館やコミュニティーセンターに行き、クラフト教室や壁面構成をし、活動を通して子どもたちとの関わりをもつ。
22	N o i r	ファッションショーを通して他学部学年を問わず交流し、関係を深めることを目的とする。また、学外のコンテストや、ファッションイベントなどにも参加し、他大学・専門学校とも交流することを目的とする。
23	ウ イ ン タ ー ス ポ ー ツ	敬遠しがちな冬ならではのスポーツの楽しさをいろんな人に伝えていきたいと思い結成したサークルです。冬のスポーツとふれあうきっかけ作りになればいいと思っています。オフシーズンは体力づくりに励みます。
24	女 子 ス ポ 同 好 会	バスケットボールを通して体を動かして交流し楽しみながら活動する。
25	イ ル カ ナ	インタラクティブなコンテンツの製作。また、これを達成する為に必要な技術を習得すること。作成する為に必要な人材を確保し、コンテンツ製作のハードルを下げ、作成基盤としての場を提供すること。
26	H . B a l l	ハンドボールをはじめ、様々なレクリエーションスポーツをし、スポーツの楽しさに気付きながら活動を楽しむ。

クラブ・同好会紹介 (西キャンパス)

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	T e n n i s 部	テニスを通して学科コースの壁を越えての交流と、日々の制作で運動不足になりがちなので適度に運動し、心身ともに健康を保つ。仲間を増やしより情実した学生生活を送る。
2	GONCE スキー部	スキー・スポーツを通して健康な体作り中心の成熟 人間的な成長を求め、他校との交流や地域の活動にも参加し、社会的なサークルとして学生生活をより充実したものにする。大会などの競技に参加し、努力やスポーツマンシップを学ぶ
3	着 付 け 部	自分一人で浴衣または着物が着られるようにする。日本の文化に触れる。
4	空 手 部	武術の伝承。強靱な肉体を作るため。
5	バ ト ミ ン ト ン 部	学年を超えて活動することにより、上下関係、交友関係を広げる。また週1～2回の活動で健康的に体を鍛え、日常生活の体力をつけることを目的とする。
6	サ ッ カ ー 部	同学年だけでなく、他学年との交流が出来る場でありまた日頃運動によって心身共に鍛え、学校生活をより有意義にする為に活動しています。大会においては更に他大学との交流もしています。
7	動 画 漫 画 研 究 会	動画・漫画制作の機会に触れて、制作の楽しさや大学を知ってもらったり、その活動の中で部員同士の交流を深めていくのが主な目的です。
8	写 真 部	写真技術の向上と写真表現の研究。写真部員同士による写真と美術、デザインに対する関わりの研究。
9	自 由 音 楽 部	我々自由音楽部は、ポップミュージカルを中心にあらゆる音楽に、触れその可能性を見つけ発展させ、様々な表現技法を使い新しいそしてインタラティブな物を使っていく部活道です。
10	軽 音 楽 部	音楽活動を通じて演奏技術の向上や、部員との交流をする。定期的に発表の場を通じて感性を磨くことを目的とする。
11	陶 芸 部	土に触れ、物を作ることの楽しさを知り陶芸の技術を広める。
12	サマータイムブルース(野球)	野球を通して、社会に参加し大学生活をより充実したものにする。
13	剣 道 部	運動をして健康的な学生生活を送る。部活動を通して、交友を深める。
14	版 画 部	版画を選択していない学生にも興味を持つため体験してもらう。
15	バ ス ケ ッ ト 部	毎週火・木に体育館にてバスケットをして年に2回の大会を開催して交流を深める活動をしています。
16	バ レ ー ボ ー ル 部	バレーボールを通して、学部学年関係なくコミュニケーションをとること。
17	演 劇 部	自分の体と空間、舞台を使い演劇を通して個々の表現をしていく。年に1回の大学祭の公演を中心に活動の成果を表現で訴える。同じ目的をもった仲間とコミュニケーションをとり、自らの世界を豊かにする。
18	フ ォ ー ク ギ タ ー 部	フォークギターによる演奏を行うライブや合宿などの行事を通じて、学年や学部の異なる仲間との親睦を深め、自主性や協調性を身につける。
19	ス ト リ ー ト ダ ン ス 部	体を動かし、健康な体を維持する。
20	m & m 's 映 画 部	最近の映画や過去の話題作を大人数で観ることにより、それぞれが抱いた感想や印象を話し合い感性を広げていく。
21	映 像 研 究 部	ここ数年で表現の幅が拡大している映像メディア。それを通して個人にどのような影響があり、社会にはどんな変化があるのかを研究する。またこの研究する。またこの研究において映像制作も行う。
22	チ ェ ア ー ズ	「子ども」「遊び」について真剣に考え、独自に作り出した遊びのワークショップから、子ども達に自分で体を動かすことの面白さを見つけてもらうことを目的としています。
23	造 形 研 究 部	学校の授業だけでは学べない専門に特化した立体造形をやりたい人が集まり、お互いの知識や情報を交換し技術に磨きをかける。趣味の範囲に留まらずイベントの参加、見学等各自が積極的に取り込み先輩・後輩・OB・学外の垣根を越えて活動する。
24	F R E E D Y	学生による学生のための学内フリーパーパー発行を主な目的としています。取材・インタビューや撮影、デザイン、入稿など発行するまでの仕事を経験出来、社会に出る前に多くの事を学ぶことが出来ます。
25	茶 道 部	茶を点て、振る舞うことを主とし、茶道の芸術性を理解研究する。また芸術的作業の間際に心を休める空間としても機能する
26	SweetCandyBoys&Girls	自然と触れ合うことで、自然との共存を回り山や川のありがたみを知る。
27	ウインドサーフィン部	ウインドサーフィンの技術の向上と基礎体力をつけた健康な体力をつけて健康な体をつくりまします。
28	器 楽 ・ 声 楽 研 究 同 好 会	合唱、合奏を通して普段の制作では味わえない表現を体験する。
29	遠 足 同 好 会	主にキャンプ。それに登山や釣り、川・海で自然を体験して達成感を得る。
30	Cooking Club 同 好 会	皆で食材を持ち寄り、皆で料理を作ることで料理の楽しさを学びました、見た目の美しさを追求していくことを目的とする。学年末にレシピ本の制作をする。
31	ストリートスケボー同好会	名芸の皆で楽しくスケボーをして、トリックをしようというのが目的です。また親睦を深めることも大切な目的の一つです。

CONCERT GUIDE

2012年度 名古屋芸術大学音楽学部 演奏会案内

9 September

ウィンドオーケストラ第31回定期演奏会

指揮/ヤン・ヴァンデルロースト
竹内 雅一
曲目/バイザリヴァー
オステイナーティ 他
日時/2012年9月27日(木) 18:30開演予定
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料/1,000円 (全自由席)

10 October

研究生特別演奏会

日時/2012年10月11日(木) 18:00開演予定
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

オーケストラ第30回定期演奏会

指揮/古谷 誠一
曲目/リスト ピアノ協奏曲第2番イ長調
ラフマニノフ 交響曲第2番ホ短調
日時/2012年10月19日(金) 18:45開演予定
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料/1,000円 (全自由席)

11 November

第20回ピアノの夕べ

日時/2012年11月8日(木) 17:30開演予定
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

音楽学部第35回定期演奏会

日時/2012年11月15日(木) 18:00開演予定
会場/三井住友海上 しらかわホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

12 December

「Earth Echo」電子オルガンコース 第15回定期演奏会

日時/2012年12月4日(火) 18:30開演予定
会場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

第31回室内楽の夕べ 大編成の部

日時/2012年12月11日(火) 18:00開演予定
会場/名古屋芸術大学3号館ホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

第31回室内楽の夕べ 小編成の部

日時/2012年12月20日(木) 18:00開演予定
会場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

2 February

研究生修了演奏会

日時/2013年2月7日(木) 18:00開演予定
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

Kaleidoscope2013

日時/2013年2月9日(土) 14:30開演予定
会場/愛知県芸術劇場小ホール
入場料/500円 (全自由席)

第11回 歌曲の夕べ

日時/2013年2月9日(土) 18:30開演予定
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

第17回 春のコンサート ピアノのしらべ

日時/2013年2月14日(木) 17:30開演予定
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

オペラ公演「ヘンゼルとグレーテル」

演出/澤脇 達晴
日時/2013年2月21日(木) 18:30開演予定
会場/名古屋市芸術創造センター
入場料/1,000円 (全自由席)

大学院音楽研究科特別演奏会

日時/2013年2月26日(火) 18:00開演予定
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

アンサンブル・フィラルモニク・ア・ヴァン 第14回定期演奏会

指揮/ヤン・ヴァンデルロースト
小野川 昭博
日時/2013年2月27日(水) 18:15開演予定
会場/長久手市文化の家 森のホール
入場料/1,000円 (全自由席)

第40回卒業演奏会

日時/2013年2月28日(木) 18:00開演予定
会場/三井住友海上 しらかわホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

日時/2013年3月1日(金) 18:00開演予定
会場/三井住友海上 しらかわホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

3 March

第15回大学院音楽研究科修了演奏会

日時/2013年3月7日(木) 18:00開演予定
会場/三井住友海上 しらかわホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

日時/2013年3月8日(金) 18:00開演予定
会場/三井住友海上 しらかわホール
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

ミュージカル公演公開リハーサル

日時/2013年3月9日(土) 18:00開始予定
会場/名古屋市芸術創造センター
入場料/無料 (全自由席)

ミュージカル公演 (演目未定)

日時/2013年3月10日(日) 14:00開演予定
会場/名古屋市芸術創造センター
入場料/1,000円 (全自由席)

※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。
入場無料の公演は、整理券を発行します。

【お問い合わせ】名古屋芸術大学音楽学部演奏課

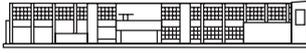
■〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281

■Tel 0568-24-5141

アート&デザインセンター 2012/2013 展覧会スケジュール

2012	
3月23日(金)~4月11日(水)	デザイン学部選抜レビュー展
4月13日(金)~4月18日(水)	「What I am」
4月13日(金)~4月25日(水)	榎田君代展
4月20日(金)~4月25日(水)	プリズム
4月27日(金)~5月9日(水)	TONNERU
4月27日(金)~5月9日(水)	「沈黙の彼女」
4月27日(金)~5月9日(水)	芝生敷く
5月11日(金)~5月23日(水)	2012年度企画展 BITE-SIZE 日英テキスタイルアート交流展
5月25日(金)~5月30日(水)	peace nine 展
5月25日(金)~5月30日(水)	『版画コース・コレクション』展
5月25日(金)~6月6日(水)	NEW IDEAS IN MEDALLIC SCULPTURE at NUA
6月1日(金)~6月6日(水)	創作折紙作品展
6月1日(金)~6月6日(水)	glow
6月1日(金)~6月6日(水)	ファーブルの手仕事図鑑
6月8日(金)~6月13日(水)	『FROM DENMARK 2012』展
6月15日(金)~6月20日(水)	名古屋芸術大学教員展
6月22日(金)~6月27日(水)	名古屋芸術大学OB・OG展
6月22日(金)~6月27日(水)	カモネ展
6月22日(金)~6月27日(水)	川平と高田
6月29日(金)~7月4日(水)	反原発ポスター展
7月6日(金)~7月11日(水)	2012年度 前期交換留学生作品展
7月13日(金)~7月18日(水)	洋画2コース2年生学生選択展
7月13日(金)~7月18日(水)	タイ・バンコクの姉妹校スリナカリンウィロット大学教員交流展
7月20日(金)~7月25日(水)	洋画1コース3年展
7月27日(金)~8月8日(水)	素材展
9月21日(金)~9月26日(水)	立体造形コース前期制作展2012
9月28日(金)~10月3日(水)	彫塑コース作品展
9月28日(金)~10月3日(水)	雨の日を楽しくするデザイン
9月28日(金)~10月3日(水)	有田文庫 一ひらめきを紡ぎだす書物たち
10月5日(金)~10月10日(水)	アーツ! ラジオ&大学院同時代表現研究展
10月12日(金)~10月17日(水)	『ノリ・モリモト』展
10月19日(金)~10月24日(水)	『遭遇するドロ잉:ハノーファー&名古屋2012』展
10月26日(金)~10月31日(水)	大学院洋画制作2012
11月2日(金)~11月14日(水)	2012年度企画展 Open your eyes 一生きる術としてのアート
11月16日(金)~11月21日(水)	MCDデパートメント
11月23日(金)~11月28日(水)	『幼稚園児たちのゲイジツ』展
11月23日(金)~11月28日(水)	『Hand Hospeace:医療と美術』展
11月30日(金)~12月5日(水)	『AFTER DENMARK:坂本麻貴×鈴木京』展
12月7日(金)~12月12日(水)	こどもの空間 絵本と椅子
12月7日(金)~12月12日(水)	2012年度 後期交換留学生作品展
12月14日(金)~12月19日(水)	デザイン学部MMDコース展
12月21日(金)~12月26日(水)	工芸領域 2・3年生展
2013	
1月11日(金)~1月16日(水)	日本画3年作品展
1月11日(金)~1月16日(水)	二人の作家による版画展
1月18日(金)~1月23日(水)	美術学部コース展
未 定	卒業制作展
3月22日(金)~ 未 定	デザイン学部 レビュー選抜展

※都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

Art & Design Center 

名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市長重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

親の想い

世界にたった一匹の蝶になれ

デザイン学部 デザイン学科
3年 母 内海那保子

娘は、私が初めて授かった子どもです。かわいくてかわいくて、いつも抱っこしていた頃が、つい最近のように思い出されます。

絵を描く事や歌を歌う事、楽器を演奏する事などが大好きな子でした。

世界的にも人気のある絵本、「はらぺこあおむし」をご存知でしょうか。このお話は、葉っぱの上の小さな卵から始まります。卵から孵った小さなあおむしが、パクパクと葉っぱや果物を食べて大きくなる。あおむしはどんどん大きくなって、さなぎになり、やがて繭を破って、ある日パーッと「きれいな蝶」になって出てきます。「はらぺこあおむし」のように、あらゆる生き物は、自ら変わる力、すなわち自己創造力を持っています。もちろん人間も…。その力を支援する良質な環境があったらどうでしょうか。私は学校というのは、そんな場所だと考えています。

あおむしも順風満帆で蝶になるわけではありません。激しい雨や風に耐え、天敵に襲われそうになりながらも、それでも栄養をどんどん吸収して成長するのです。

娘も病気をしたり、時には辛い事も我慢を強いられる事もあったのではないかと想像します。でも、いろいろな人に囲まれて、お互いに違いを受け入れ合いながら切磋琢磨していく。そうやって、たくましく成長してくれていると実感しています。

これからも大学から、大学院、社会へと自ら積極的に関わりを広げ、好き嫌いせずに多くの出会いを経験し、それを糧に自己創造力を発揮して行って欲しいと思います。そしていつか、誰とも違う、世界にたった一匹だけの蝶になって飛び立つことができたら素敵だなと思います。それは何よりも美しい蝶に違いありません。



職人を目指せ

美術学部 美術学科
1年 父 服部政光

おっさんの説教です。

エライ時に生まれたものやね。世の中閉塞感でいっぱい。それにもっと世の中を悪くしようとする輩が徘徊し始めています。

でもね、一方では原発、政治、国際問題に今まで黙っていた普通の市民達が声を揃えようとしています。同時に新たな装いをした人間が強権政治の復活を目論んでいます。

世の中混沌とはしていますが、眼を科学技術や物理学に向ければ大きな変革点にあります。ここ十年特にこの数年で17～18世紀の科学の革命時期以上の発見や理論が大きく進んでいます。

どの事象を捉えても、格差が広がる情勢の中で、これから世の中に出て行き自立を目指すのは並大抵ではありません。ましてや芸術家を目指しても達成できるのは極一部の人間でしょう。例えば芸術家になったとしても食べて行くことは相当艱難なのは明らかです。

でもね、好きなことに邁進する娘をずっと見て来た親としては、食べる為に好きなことを諦めて欲しくはないのです。

芸術とは表現側と受け入れ側との調和で成り立ちます。時として調和に時間差が発生し、多くの芸術家達を不幸にしました。

芸術家になれない人間はどうすればいいのでしょうか？今すぐ相手と調和が取れる“職人”になることをおすすめします。

あらゆるコミュニケーション手段が浸透している現在なら、自己表現もできる職人になることは難しくはないと思います。

どのように表現するかとは、どのような人間なのかと同じことです。

どうか近視眼的に物事を捉えずあらゆる側面から観察し、多方面の知識を吸収し、自分なりの哲学を構築することで立派な“職人”になって欲しいと思っています。

闇と希望は意思のチカラで結ばれます。

子の想い

出会いを大切に

デザイン学部 デザイン学科
4年 遠田夏希

名古屋芸術大学に入学してから早いもので今年で4度目の夏休みを迎えました。

夢と希望を持って入学した1年生。大学生活にも慣れ、それぞれのコースで新生活がスタートした2年生。課題も忙しくなり、自分の将来と向き合い就職活動を始めた3年生。就職活動も終盤を迎え、卒業制作という課題に突き当たっている4年生の今。思い返せば、数多くのことを学び、経験することができたと思います。

私はメディアデザインコースを専攻していますが、特に印象に残っているのが3年生の課題で取り組んだ「雑誌制作」です。この課題は5、6人のグループで一から自分たちで企画、取材、編集、制作を行い1つの雑誌を制作するというものでした。

インタビュー取材では、初めて自分が学外に出て社会との繋がりを持ち、多く人と出会うことができたことに喜びを感じ、感謝でいっぱいでした。仲間との絆もより一層深まり、原稿が1つの雑誌へ完成したときの達成感は今でも忘れられません。他では味わうことのできない経験をすることができ、それは私の基盤ともなりました。デザインの勉強だけでなく、仲間とのコミュニケーションを通じて対人関係を学び、自分の人間性を高めることが出来たと思います。

「人との出会い」に感謝し、大切にしていきたいということは就職活動をするにあたって重要にしていました。就職活動を通して、多くの企業や社会人の方、他の大学の学生との出会うことができ、1番の収穫になったと思います。

今しか経験できないことを沢山させてもらうことが出来たのも今まで支えてくれた家族、友人、ご指導していただいた先生方のおかげであり、大変感謝しております。残り少ない学生生活を悔いの残らないよう、これからも「人との出会い」を大切に日々成長し、今を精一杯楽しみたいと思っております。

そして4年間の集大成である卒業制作には全力を注ぎ、頑張りたいと思います。

「好き」なことを学ぶということ

デザイン学部 デザイン学科
1年 渡邊有喜

小さい頃から絵を描いたり、ものを作ったりすることが好きでした。今思うと、いつも手の届くところに紙や色えんぴつ、色紙や空き箱などが置いてある家でした。どうやらこれには両親の思惑があったようです。

私の両親は、どちらも名古屋芸大の卒業生です。きっと、私たち姉弟には文字を書くことを覚えるより先に絵を描くことを覚えることを望んでいたのだと思います。

私が、絵を描いたりものを作ったりすることが「好き」という段階から芸大に進学して本格的に絵の勉強をしたいと考えるようになったのは高校3年生になってからでした。高校で吹奏楽部というハードな部活に入っていた私は1～2年生のうちなかなか具体的に進路を考えることができませんでした。

それでも芸大を受験しようと思ったのは、やっぱり絵を描いたり、ものを作ったりすることが好きだったからだと思います。

心を決めてから本格的な芸大用の受験勉強をスタートさせたのが遅かったので、とても不安でしたが無事名古屋芸大のデザイン学部合格することができました。不安でいっぱいだった時、いろいろと相談に乗ってくれた研究所の先生や両親にはとても感謝しています。

実際、芸大生としての生活は課題も多くて大変ですが、今年は芸大祭の実行委員としても活動するなど忙しくてもとても充実した毎日を送っています。そして、これから先の学生生活を考えるととても楽しいことがいっぱいわくわくしてしまいます。

卒業までの間、悔いのないように学生生活を送っていくことが今の自分の一番の目標です。



TOPICS *pick up*

本学と名古屋音楽学校が連携強化を推進

名古屋芸術大学を運営する学校法人名古屋自由学院(名古屋市昭和区)と名古屋音楽学校(名古屋市中区)は、本年4月から、相互の音楽教育の進展並びに音楽文化の発展に寄与することを目的として、音楽文化活動全般における密接な連携を推進することになりました。名古屋音楽学校は、1948年4月に創設された歴史と伝統のある音楽学校で、フランスのパリにあるエコール・ノルマル音楽院のピアノ専攻のディプロマを取得できる日本唯一の公認機関です。このたびの名古屋音楽学校との連携は、名古屋芸術大学の公開講座の同校の施設での開催、双方の各種演奏会の開



催等により、教育内容のいっそうの充実を図ろうとするものです。将来的には、名古屋芸術大学及び同大学院学生の教育活動の場の拡大、卒業生等に対するレッスンや、エコール・ノルマル音楽院への留学指導等、双方の教育財産を活用することを視野に入れ、地域における音楽文化の向上と発展に寄与させるべく検討を進めていく予定です。

特別客員教授ケイコ・リー氏の公開講座が開催されました

2012年7月5日(木)本学東キャンパス2号館で、特別客員教授ケイコ・リー氏の公開講座が行われました。

ケイコ・リー氏は、21歳から独学でピアノを始め、ピアニストとしてジャズやシャンソンの伴奏を経験した後、徐々にシンガーへと転向。95年のデビュー作『イマジン』以来、多くの作品をリリースしています。存在感のあるヴォーカル・スタイルとディーブ・ヴォイスで高い評価を得ています。2003年5月のスイングジャーナル誌主催「日本ジャズメン読者人気投票」では、女性ヴォーカル部門の第1位に加え、総合部門の頂点でもある「ジャズマン・オブ・ザ・イヤー」、「アルバム・オブ・ザ・イヤー」の三冠を獲得。2009年5月には同人気投票女性ヴォーカル部門で堂々13年連続の第1位に輝きました。実力・人気ともにNo.1ジャズ・ヴォーカリストとして国内外でその地位を確立しています。

今回の公開講座は、ジャズ・ポップスコースの学生を対象にしたケイコ・リー氏によるヴォーカルレッスンです。ピアノ伴奏は名古屋を中心に活動するジャズピアニストの後藤浩二さんが務めました。

最初にレッスンを受けたのは、桑原知代さん(3年生)。曲は「Lullaby of Birdland(ララバイ・オブ・バードランド)」で、桑原さんのヴォーカルを聴いたケイコ・リー氏は、「フレーズの最後が全て短く切れるので長く伸ばすように。逆にフレーズの頭は大きめにアタックしてみて。それから、喉を太い筒のようなイメージで声を出すように。あくびをすするときと同じぐらい喉を開いて太い声を出すようにしてみて。」とアドバイス。さらに、「ジャズ・ヴォーカリストの名唱を聴いてまねてみて。例えばヘレン・メリルとか。理屈ではなく自分で感じてみるのが大切です。」とコメントを加えました。また、声量不足が気になるとして、離れた場所のケイコ・リー氏の手のひら目がけて声をぶつけるユニークな練習も披露しました。

次にレッスンを受けたのは、藤村堯弘さん(3年生)。曲はフランク・シナトラのナンバー「Let Me Try Again(レット・ミー・トライ・アゲイン)」です。ケイコ・リー氏は藤村さんに「昨年のレッスン(今回が2度目のレッスン)から随分と良



桑原知代さんのレッスンの様子



声量をパワーアップするレッスン

くなっています。気になるのはビブラート。ムード歌謡のようになるのを注意。そして、歌いあげずにウィスパーで歌うといい。ただし、声量がパワーダウンしないように。」とアドバイス。見違えるように艶やかで伸びやかな歌声に変化した藤村さんのヴォーカルに、講座聴講者も驚きの表情でした。

3人目の稲田由花里さん(3年生)の曲は、「君の瞳に恋している」の邦題で有名な「Can't Take My Eyes Off You(キャン・テイク・マイ・アイズ・オフ・ユー)」。元気に歌った稲田さんにケイコ・リー氏も「とってもチャーミングな歌い方です。でも、ポップス過ぎるので、80年代アイドルのような癖を取りましょう。悪い癖は取ってしまう!そして、しっかりと基礎を作ること。ヴォーカルがパワー不足で、途中で声が失速して垂れ下がった感じに聴こえます。また、高音の「イ」「エ」も詰まりやすいので、あなたも喉を開けることを意識して練習してください」とアドバイス。稲田さんにはテンポをすこく落として歌うレッスンなどで、気になっていた癖が解消されました。

ヴォーカルレッスン終了後は、いよいよケイコ・リー氏のソロヴォーカルが披露されました。1曲目はジャズスタンダードの「Time After Time(タイム・アフター・タイム)」を披露。2曲目はミュージカル『ボーギーとベス』のナンバーから、とてもキレイなバラード「I Loves You, Porgy(アイ・ラブズ・ユー、ボーギー)」をしっかりと歌い、3曲目はサイモン&ガーファングルの名曲「明日に架ける橋」(Bridge over Troubled Water(ブリッジ・オーバー・トラブルド・ウォーター))を自らピアノを弾きながら歌いあげました。そして、ラストナンバーはブルージーな「Gee Baby, Ain't I Good to You(ジー・ベイビー・エイント・アイ・グッド・トゥ・ユー)」をダニー・シュエッケンディック教授(ジャズ・ポップスコース担当)のピアノで聴かせてくれました。世界に認められているジャズ・ヴォーカリストの歌声に、満席の聴講者は酔いしれていました。

パリ・エコール・ノルマル音楽院副学長

Jean-Louis Mansart氏による公開講座がおこなわれました



曲目の解説講義をするマンサール副学長

2012年5月8日(火)、名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホールで、本学の姉妹提携校であるパリ・エコール・ノルマル音楽院の副学長Jean-Louis Mansart氏を特別講師とした公開講座が開催されました。

第1部は、ピアノコース4年生の演奏に対する公開の個人レッスンで、一曲目は、永田紘子さんのドビュッシーの「『版画』より塔」に対する指導でした。



永田紘子さんのレッスン

まず、曲目の解説とともに、当時の社会情勢などをふまえた作曲者の心情や作風などについてのお話がありました。『版画』は、1903年に完成されたピアノ曲編で、この作品はしばしばドビュッシーが印象主義的なピアノ技法を確立した作品と評されています。全体は3曲から構成されていて、第1曲の「塔」は、ドビュッシーが1889年にパリで開催された万国博覧会で、バリ島民の演奏するガムラン音楽を聴き、深く興味を持ち、この曲はその影響を反映したといわれています。五音音階を用いた東洋風な主題が、変化し、繰り返され、独特の雰囲気をつくりあげています。

二曲目は、秀平雄二君が演奏したラヴェルの「『夜のガスパール』よりオンディーヌ」でした。『夜のガスパール』は、ルイ・ベルトランの詩集、およびそれを題材にしたラヴェルのピアノ組曲です。ラヴェルは1908年、ベルトランの詩集から3曲のピアノ独奏曲からなる組曲を作曲しましたが、「オンディーヌ」はその第1曲です。終始細かいアルペジオが左右で入り組む難曲です。形式はソナタ形式で、詩の内容に忠実に基づいているといわれています。このような解説講義の後、曲の中の重要又は難解な旋律のパートについて、具体的な引き方のアドヴァイスが行われました。また、自身が模範演奏をすることで演奏の手法を教授していただきました。

第2部は、パリ・エコール・ノルマル音楽院と名古屋芸術大学との交流作品演奏会で、3曲が演奏されました。プログラムは、本学の堀田秀雄教授が作曲した「変容」ーフルートとヴァイオリンとピアノのための音楽ー(FI. 磯貝俊幸 Vn. 藤竹悠衣 Pf. 菅原美枝子)。続いて、Jean-Louis Mansart 副学長が作曲された「LE JOUR NAISSANT」(FI. 磯貝俊幸 Pf. 山田敏裕)。最後は、本学の田中範康教授の作曲した「相克の時」(Cl. 竹内雅一 Pf. 山田敏裕 Mallets 石田まりこ)でした。

美術学部公開講座

楽 吉左衛門氏「時代における土表現」が開催されました

2012年6月26日(火)、本学西キャンパスにおいて、15代楽 吉左衛門氏を特別客員教授としてお迎えして、公開講座：テーマ「時代における土表現」が開催されました。

楽 吉左衛門氏は、昭和24年、京都市生まれ、陶芸家。日本独自の陶芸・樂焼の家系の十五代目。昭和48年に東京芸術大学美術学部彫刻科を卒業後、イタリア留学を経て昭和56年十五代吉左衛門を襲名。日本国内外で数々の賞を受賞し、「陶芸作家」としての評価も高い。1997年に織部賞を受賞。桃山時代に樂茶碗を造りだした初代長次郎以来、400年余りの歴史と伝統を継ぐ樂家十五代当主として、伝統に根ざしながらそこに安住することなく、常に斬新な感覚を示す造形美の世界を表現し続けている。国際陶芸アカデミー会員です。

今回の公開講座には、パネリストとして吉川正道氏(陶芸家 美術学部教授)と、久野利博氏(造形家 デザイン学部教授)が出演。また、司会・コーディネーターは高橋綾子氏(美術学部准教授)で行われました。

高橋綾子氏による楽氏の紹介に続き、神戸美術学部長の歓迎の挨拶があり、講座が始まりました。

前半は、吉川氏の質問に対して楽氏が答えるというかたちで進行了。最初は、昨年の秋に名古屋松坂屋美術館で開催された「茶碗 今を生きる」展について、その内容や展示作品についてのお話でした。この展覧会では、茶の湯茶碗の歴史を、桃山、江戸初期、中期、後期、明治・大正、現代の6つの時代に分け、桃山より今日まで400年以上に渡り茶の湯茶碗を造り続けてきた樂家歴代の代表作が展示されました。日本人にとって茶碗とはどのような存在なのか。茶碗の中に込められた精神世界、時代を生きる激しく燃える創造のエネルギーを感じていただくことを意図した展覧会でした。

続いて、滋賀県守山市にある佐川美術館についてのお話に入り、その中にある楽吉左衛門館と茶室について解説されました。楽吉左衛門館は主に、2000年以降に制作された茶碗などが展示されていて、水庭に埋没された地下展示室や、水面に浮かぶように建設された茶室は、吉左衛門氏自身の設計創案で、2002年から2007年の間で5年間をかけて完成させたそうです。佐川会長の特別な計らいで、十分な資金をかけて建設されたこの建物は、第50回BCS賞(社団法人建築業協会)

やJID賞ビエンナーレ大賞(社団法人日本インテリアデザイナー協会)など、開館以来数多くの賞を受賞しユニークで斬新な建物として高い評価を受けています。

休憩を挟んで後半は、まず茶碗を創ることについて語られ、茶碗創りは形も大きさも全て「手の触覚」の世界であるとお話でした。どれぐらいの大きさや何グラムもの重さということではなく、全て自分の手の触覚で決めるものであり、その感覚を大切にしているとのこと。次に、茶室を造った意味については、茶室という特殊な空間は、まずどこに建てるかという事が問題であり、どのような場所なら茶室の存在を示すことが出来るか、が重要となります。したがって、街中やホテルの中ではなく、自然の中に造ることにしたそうです。そして、茶室と地下展示室の構造や機能について、なぜそのように設計し配置したのか、その理由などを映像を写しながら解説されました。

この後は久野氏から、楽氏が執筆されている出版物などに関する質問がありました。本年3月30日に淡文社から出版された「ちやわんや」は、楽氏の襲名30周年を機に出版されたもので、「僕は初めてこの茶碗一つを作って、家を出た」と書かれた17歳初作りの赤樂茶碗から、襲名、数々の展覧会を経て今日に繋がる作品を自選し収録。それらにその時々を思いを詩やエッセイとして綴り添えています。文章と作品の組み合わせで、当代の歩みや作品と思いの変遷などが鑑賞できる内容となっています。特に作陶への思い、人生観、生き方を率直に表現しているものです。自己表現に苦悩し、何をしても良いか分からない時期もありました。先ほどもお話したように、茶碗は重さも大きさも手で感じて造るものです。2007年からフランスに滞在し、そこでも4年間茶碗造りをしました。外国で感じたのは、人間の身体性というか、身体を材料とした感覚的な表現は、日本人は誇れるものがあると思います。歌舞伎、能、謡などの芸能、そこには日本人の独自性が表現されています。これは大切にしなければなりません。ちなみに、私は謡をやっています。



15代 楽 吉左衛門氏

この後、ご自身の子どもの時代の様子などについてのお話がありました。無口でおとなしい少年だったそうで、自己表現など出来る子どもではなかったとのこと。それは、染焼の茶碗造りという環境や特殊な人間関係の中で育ったこともあるかもしれないとのこと。

最後に物造りの本質について語られました。茶碗造りは一年のサイクルの中で、その窯にとって最も適した季節に窯を開けることが大切です。陶芸のステップは、最初に形をイメージすることで、「こんな形のを造りたい」という意識が重要です。制作の過程における窯の温度や湿度また、火の強さなどは、温度計などのデータよりも、自分自身の身体や肉体で感じるの方が多くの情報を含んでいます。私は自分自身の身体で感じる感覚を重視してもの造りをしています。

自分の生きている感覚をつかむことが最も大切です。と話されました。

今回の楽吉左衛門氏のお話は、常に厳しく自己を律し、作陶に関しては絶対に信念を曲げないという氏の一貫した姿勢がうかがえる内容でした。



楽氏の制作した茶碗



茶室から水庭を望む

カーデザインの特別セミナー 「ホンダデザインセミナー 2012」が 西キャンパスで開催されました

デザイン学部インダストリアルデザインコースではカーデザイン教育に力を入れており、本年も2012年6月9日(土)・10日(日)の2日間、本学の西キャンパスでカーデザインに関するデザインセミナー「ホンダデザインセミナー2012」を開催しました。本セミナーは今回で2010年から今回で3回目、初回は名古屋芸術大学の主催、2、3回は本田技術研究所主催、本学の協賛で開催されています。このセミナーは、本田技術研究所のデザイナーから、直接デザイン指導を受ける実践的な講座で、東海地区の芸術・デザイン系の大学から9校、31名(名古屋芸大デザイン学部インダストリアルデザインコースの学生12名)が参加しました。このセミナーでは、「10年後、のりもので新しい“楽しさ”をデザインする!」というテーマに受講者全員が取り組み、各自の考えたアイデアをプレゼンボードにまとめ、本田技術研究所スタッフへプレゼンテーションします。

セミナー1日目は、特別講義「ホンダデザイン」と、スケッチ講座が行われました。特別講義「ホンダデザイン」では、ホンダの会社の概要や最新のデザインなどが、映像や画像で詳しく解説されました。午後からの現役デザイナーによるスケッチ講座では、マーカーやパステル技法を教わり、プロダクトデザイナーにとって基本であるレンダリングの技術指導を受けました。

セミナー2日目は、前日の午後から取り組んだ、プレゼンボード制作のための個人ワークでスタート。昼食の時間を削ってまでボードを仕上げる受講者も目立ちました。午後からはいよいよプレゼンテーションがスタート。プロデザイナーや他校の学生たちを前にして、緊張を隠せない受講生たちですが、各自が作成し



プレゼン中の本学デザイン学部の中岡さん

たプレゼンボードを基に、それぞれのスタイルでアイデアを一生懸命に解説していました。中には身ぶり、手ぶりを加え、乗り物の特徴を伝えようと懸命な受講者や、乗り物の構造を説明するために、ボード以外の



本田技術研究所の金井氏

ペーパーを用意して、動きを解説する受講者など、個性も発揮されていました。プレゼン作品には、新しい軽トラックや加速の良い通勤用のクルマなど、従来カテゴリーのクルマに、新しいアイデアを加えたものや、ドライブの思い出をクルマ自身が撮影し、映像を空間に照射して見せてくれる、新しいデバイスを備えたクルマや、犬を安全に乗せることを目的にしたクルマ。ボディ側面に水槽などを備えた販売用車両や、スマートフォンでコントロールできる屋内移動用のモビリティなど、夢のある未来の乗り物までが登場。斬新なアイデアが提案されました。このように、ユニークなアイデアに溢れた受講生のプレゼンテーションに対し、講師役を務めた本田技術研究所スタッフは、それぞれの良い点と改善点について、具体的にプロ視点からアドバイス行ないました。受講生たちも、その講評を熱心に聴き入っていました。

また、本田技術研究所スタッフによる模擬プレゼンテーションでは、ボードの仕上げ方やプレゼンテーションの効果的な技法を、直接見て学ぶことができました。そして、コンセプトを基に展開されるストーリー、ネーミング、使用シーンなど、プロならではのクオリティの高さや、レベルの違いに触れることもできました。

このセミナーを通じて、プロデザイナーから、さまざまなアドバイスや、技術的な指導を受けることができた受講生たち。この貴重な体験を活かし、カーデザイナーを目指して大きく飛躍してもらいたいと思います。名古屋芸術大学インダストリアルデザインコースではこのような活動を通して多くの学生(2005年以降30名)が自動車メーカーのデザイナーとして就職、あるいは内定しており、今後の活躍が期待されています。

2012年度アート&デザインセンター企画展 B I T E S I Z E 日英テキスタイルアート交流展が開催されました

2012年5月11日(金)から23日(水)まで、名古屋芸術大学西キャンパスアート&デザインセンターにおいて、本年度の企画展である「B I T E S I Z E 日英テキスタイルアート交流展」が開催されました。

本学の姉妹提携校である英国クリエイティヴアーツ大学

のレスリー・ミラー教授は、永年に渡り日本とイギリスのテキスタイルアートの交流をテーマとした展覧会を継続的に企画してきました。本展は、ミラー氏のこうした活動の集大成ともいえる日英を代表するテキスタイルアーティスト51名によるミニアチュール作品展です。昨年ロンドン(大和ジャ

パンハウス)で開催され、その後京都(ギャラリーギャラリー)へ巡回、本学での開催が最終の展覧会となりました。

20世紀後半に欧米で確立され、日本でも浸透したテキスタイルアート。それぞれ独自の発展を遂げてきた日本とイギリスのテキスタイルアートは、柔軟な発想によって既成の概念を超え、繊維素材の持つ可能性と向き合い幅を広げてきました。このたびの展覧会により、染色や織物の歴史の深いこの地で、25センチ四方に込められたテキスタイルアートの多彩な世界がアーティストたちによって披露されました。

期間中12日(土)には、レスリー・ミラー教授による特別講義と、京都インターナショナルコンテンポラリーテキスタイルアートセンターの川嶋啓子氏との対談、また本学学生や来場者との質疑応答が行われました。講義でミラー氏は、これまでキュレーターとして関わってきた数多くの作家や展覧会について、作品写真を通して解説しました。英国で最も成功したテキスタイル展覧会となった2001年に行われた展覧会 textural space に84,000人が来場したことなど、自身が関わってきた様々な展覧会や多くのアーティストたちを紹介しました。

続いて行われた対談は、川嶋啓子氏の質問に対してミラー氏が答えるかたちで進行了ました。日本や日本のアーティストに対する印象としてミラー氏は、日本のテキスタイルアーティストに非常に暖かく迎えていただき、受け入れていただいたことで、日本に対する理解を深めていくことが出来ました。また、日本のアーティストの皆さんは、総じて素材に対する理解が深いように感じます。作品のコンセプトより技法が重要といった印象を受けています。また、多くの海外のアー

ティストを招聘して展覧会をキュレートするときのスタンスは、という問いに対しては、私は、アーティストにインタビューするときは出来るだけアーティストが住んでいる場所を訪問することにしていて、どういう状況のなかで、どのようにやっているのか、なぜやっているのか、コンセプトはどうなっているのか、などを確認するようにしています。私の企画する展覧会は、常にコンセプトをクリアにしているので、アーティストの皆さんにも展覧会のコンセプトを理解してもらおうように努めています。というお話でした。

最後に行われた本学の学生や来場者の皆さんとの質疑応答では、「テキスタイルアートとは何か」という最も初歩的な質問から、「なぜ、25センチ四方の小さいサイズの作品展にしたのか」、「テキスタイルを学ぶ上で一番大事なことは」、「テキスタイルだからこそ出来る表現とは何か」、「日英の作品それぞれの違いや良さは」など多くの質問が出されました。

テキスタイルは生活や人生を語ってくれます。テキスタイルは科学とは異なり、私たちの肌感覚でストーリーをつくるものです。テキスタイルを学ぶ上で大切なことは、素材をよく理解すること、自分に正直になること。とのことでした。

なお、展覧会開催中には、同時開催として、本学とクリエイティブアーツ大学両校のテキスタイルデザインコースの学生による交流展(NUA×UCA)も開催されました。本学から3名、UCAから2名の選ばれた学生の作品が展示されました。日英を代表するテキスタイルアーティストの作品と、NUA&UCAの学生の作品が一堂に展示された今回の展覧会、期間中には大勢の来場者で賑わいを見せていました。

中日本高速道路株式会社×名古屋芸術大学MCD 産学共同研究課題 共同制作されたワッペンとポスターで、 高速道路エリア及び社内でCSキャンペーンを展開中!!

本学デザイン学部メディアコミュニケーションデザインコースは、今年度、中日本高速道路株式会社との産学協同研究に取り組んでいます。産学協同研究のテーマは「高速道路休憩施設における心地よく楽しめるビジュアルコミュニケーションメディアの提案」です。??今回、その研究課題の一つとして、中日本高速道路株式会社がお客様へのサービス向上を図る『CS向上キャンペーン』で、意識改革を行うために着用するワッペンのデザインを、本学MSDコースの学生たちが考案しました。学生たちのグループワークにより提案されたデザイン案の中から、去る6月の審査会を経て、このた

び、キャラクターとして〈おはなくんワッペン〉(ワッペンは7000個制作)とCS向上キャンペーンポスターが制作されました。7月10日より、中部圏の高速道路エリアと中日本高速道路株式会社の社内全ての人が、このプロジェクトで作成されたワッペンをつけてキャンペーンを行なっています。高速道路でお出かけの際は、ぜひ、このワッペンやポスターをご覧ください。

キャンペーンポスター



ワッペン

人間発達学部で「1日限りのお仕事発見 幼稚園教諭・保育士体験」を開催!

名古屋芸術大学人間発達学部では、2012年7月25日(水)26日(木)の両日、附属のクレエ幼稚園にて、高校生による職業体験の一環として「1日限りのお仕事発見 幼稚園教諭・保育士体験」を開催しました。参加者は、はじめにクレエ幼稚園で先生体験をしました。二日間ともたいへん暑い日で園庭での「水遊び」、園内での「じゃんけん列車」などを通して園児と触れ合いをしました。その後、学食でのランチ。午後から、南元子人間発達学部准教授による大学の講義「子どもたちと仲良くなる魔法の方法」を受講しました。

(参加者の感想)

「幼稚園の先生」を体験して：気づいたことは、自分から声をかけないと、自分が笑顔でないと幼児も怖がるし、話が出来ないと思いました。自分の考えや接し方を変えるだけで幼児も心を開いてくれると思いました。幼稚園の先生は大変だ

けどやりがいのある仕事と思いました。

「子どもたちと仲良くなる魔法の方法」を受講して：今まで子どもは「何故こんなことをするか」という理由をあまり考えることなく接してきたので、これからは「何故」と考え、子どもと接していきたいと思いました。

体験を通して、より先生になりたいと思われた参加者が多くこの経験を今後に生かして貰えると思いました。



後援会学費貸付事業

長引く不況の中であって、2011年には東日本大震災が追い討ちをかけるように起こりました。こうした厳しい状況の中、保護者が亡くなられたり、病気や失業されたりしたご家庭は大変だと思います。こういったことに対して少しでも助けになればと始められたのが、この学費貸付事業です。1993年に始まってから、現在まで約80名の学生が利用しています。

後援会の皆さんの会費を基金にしているため、貸付を受けるにはいくつかの条件がありますが、2011年度からは最高学年在学者を対象とするよう運用を変更いたしました。本規程をお読みいただき学費貸付事業を活用していただけたらと思います。申込み受付窓口は各キャンパス学生支援課となっています。気楽に相談してみてください。

名古屋芸術大学後援会学費資金等の貸付規程

(目的)

第1条 名古屋芸術大学後援会(以下「後援会」という。)が行う学生の福利厚生事業の一環として、家計急変等により学費の納入が困難な学生に対し、後援会が学費を貸し付けることにより修学を援助することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程により学費の貸付を受ける者を、名古屋芸術大学後援会学費貸与生(以下「貸与生」という。)と称する。貸付する学費を名古屋芸術大学後援会貸付金とする。

(資金)

第3条 学費貸付金は次の資金をもってこれにあてる。

- (1) 後援会学費貸付口座預金
- (2) この規程に基づく返還金
- (3) 寄付金・その他の収入

(貸付額)

第4条 該当学年の学生納付金半期分以内とする。

- 2 貸付金は無利息とする。
- 3 未返済金がある者に対しては、貸し増しは行わない。

(貸付方法)

第5条 学費貸付は、大学授業料口座への振込みによって行う。

(審議)

第6条 貸与生及び貸付額の決定に関しては、学生部長が大学の全学教務学生委員会の審議を経て、後援会会長に推薦する。

(貸与生の決定)

第7条 貸与生の決定は、後援会会長が行なう。

(貸与生の選考基準)

第8条 貸与生の選考基準は、以下に基づいて選考する。

- (1) 1年以上継続した本会会員の子弟であること。
- (2) 家計急変等のため本学に修学することが、特に困難であること。
- (3) 応募者の属する世帯の1年間の総所得金額が独立行政法人日本学生支援機構の収入基準以下であること。
- (4) 修学に十分耐うるものと認められること。

(申請手続)

第9条 学費貸付を希望するものは、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

なお、手続は学生支援課を窓口とする。

(1) 後援会貸付金借用願

(2) 貸付金返済計画書

(3) 学費貸付希望者の所属する学科長の推薦書

(4) 学費貸付希望者の属する世帯の1年間の総所得金額を証明する書類。

(借用手続・借用証書)

第10条 学費貸付決定者は、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

- (1) 借用証書(借用願と同じ保証人および連帯保証人の連署を要する)
- (2) 貸付金返済計画書に基づく同意書
- (3) 銀行口座振替依頼書(自動送金サービス用)(学籍を離れる時に提出するものとする)

(返還及期間)

第11条 貸付金は、学籍を離れてから3年以内で返還しなければならない。ただし、借用願出の際に虚偽の記載があった時は、直ちに返済するものとする。

- 2 返還方法は、一括返済または元金均等割とする。
- 3 貸付金の返還は、いつでも繰り上げて返還することができる。
- 4 返還は、学生支援課を窓口とする。

(返還猶予)

第12条 貸与生が傷病・その他やむを得ない事由によって返還猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することができる。

(権限委任)

第13条 この規程に基づく学費貸付金の貸付手続き及び返済收受等の一切の権限を学長に委任するものとする。なお、この規程で疑義が生じたときは、会長と学長が協議のうえ決定する。

(改廃)

第14条 この規程の改廃は、後援会の総会の議を経て会長が行なう。

附則

- 1 この規程は昭和61年7月1日から適用する。
- 2 この規程は昭和63年4月1日から適用する。
- 3 この改正規程は平成16年4月1日から適用する。
- 4 この改正規程は2005年(平成17年)4月1日から適用する。

名古屋芸術大学後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学後援会(以下「本会」という)と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
 - (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
 - (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。
- 第5条 本会に次の役員をおく。
会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名。
- 第6条 本会の役員選出は次の方法による。
- (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
 - (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
 - (3) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の仕事は次の通りとする。
- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐、会長事故ある時はその代理をする。
 - (2) 監事は会務を監査する。
 - (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。
- 第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。
- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関すること。
 - (2) 会則の改定、会の解散に関すること。
 - (3) 役員の選出、その他の役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。
- 第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員の過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第14条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。
- 第15条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第16条 本会則の運営に必要な事項は役員会の議を経て会長が定める。
- 附 則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
 - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し、即実施する。
 - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。

名古屋芸術大学後援会の弔意に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金1万円を給付する。
 2. 保護者(父・母)が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金5,000円を給付する。
 3. 役員の子2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として5,000円を給付する。
 4. 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
 5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。
- 附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。
- 附則2. この改正内規は、2006年6月1日より施行する。

名古屋芸術大学後援会顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は2005年(平成17年)4月1日から適用する。

「せせらぎ合唱団」 団員募集

私達のコーラスは、名古屋芸術大学在学中及び卒業生の父兄が、毎月第3土曜日の午後1時30分から3時まで東キャンパスの4号館の3階にあるオペラ教室で、江端智哉先生と山田正丈先生の指導で練習をしています。

これまで源田俊一郎編曲の「ふるさとの四季」やカッチーノの「アベマリア」や馴染みのある童謡や江端先生の編曲で「千の風になって」や「you raise me up」を練習してきました。初心者の方も発声から始め、パート練習を通して全体の響きを大切にすることを目指してきました。歌いたい方は、まず練習会場のドアを開けて来て下さい。我々団員は新しい仲間を待っています。

〈問い合わせ先〉

会 長 長江政則

〒480-1214

瀬戸市上品野町927

電話：0561-41-1655

副会長 千石智子

〒488-0863

尾張旭市城前町上大道4084-6

電話：0561-53-4222

絵画グループ 壁の華 会員募集

この「壁の華」は、名芸大後援会の有志により「絵を描いて楽しもう」と、20数年程前から活動を続けている絵画グループであります。毎回、大学の先生方により懇切丁寧なご指導を頂き、年一回、名古屋市内で展覧会を行い、会員の作品を発表しております。

後援会に関係のある方ならどなたでも入会して頂けます。入会すれば絵画を通じて、先生方や会員同士の交流が深まり、生活が楽しく、潤いが生まれて参ります。

会員一同ご入会をお勧め致します。

活動状況

1. 例 会

日時：毎月第3日曜日午後2時～4時

場所：西キャンパス

2. グループ展

日時：毎年5月上旬（一週間）

場所：名古屋市民ギャラリー

3. スケッチ会

10月予定

4. 懇親会

「壁の華」問い合わせと連絡先

■会長 宇佐見 誠也

〒489-0874 瀬戸市幡野町200

TEL：0561-21-4567

携 帯：090-7305-8205

■運営委員長 森部 みや子

〒492-8075 稲沢市下津町西下町58

TEL：0587-32-2814

学校法人名古屋自由学院決算報告

平成23年度 消費収支計算書

(単位：千円 四捨五入)

科目	22年度	23年度	前年度比較
消費収入の部			
学生生徒等納付金	4,032,853	3,916,966	△115,887
補助金	462,727	397,306	△65,421
その他	324,676	245,182	△79,494
A 帰属収入計	4,820,256	4,559,454	△260,802
基本金組入額	△353,491	△100,000	253,491
B 消費収入の部合計	4,466,766	4,459,454	△7,312
消費支出の部			
人件費	2,915,453	3,661,163	745,710
教育研究経費	1,449,235	1,428,533	△20,702
管理経費	440,082	398,101	△41,981
その他	64,623	84,879	20,256
C 消費支出の部合計	4,869,393	5,572,676	703,283
A-C 当年度帰属収支差額	△49,137	△1,013,222	△964,085
B-C 当年度消費収支差額	△402,627	△1,113,222	△710,595
基本金取崩額	0	283,300	283,300

消費収入の部は、学納金・補助金ともに前年度を下回り、帰属収入合計は45億5900万円（前年度比2億6千万円減少）、基本金組入額は1億円、消費収入の部合計は44億5900万円となりました。消費支出の部では、当年度のみ特殊要因として人件費・退職給与引当金特別繰入額8億1400万円、資産処分差額7600万円が加わり、消費支出の部合計は55億7300万円となりました。当年度帰属収支差額は10億1300万円の支出超過、当年度消費収支差額は11億1300万円の支出超過となりました。なお、過年度数値との比較において特殊要因（文科省通知に基づく退職給与引当金100%を繰り入れる会計方針の変更等）を除いた場合、当年度帰属収支差額は1億2300万円の支出超過、当年度消費収支差額は2億2300万円の支出超過となります。翌年度繰越消費支出超過額は、前年度繰越分に当年度分を加え、基本金取崩額（2億8300万円）を除いて、31億9600万円となりました。

平成23年度 貸借対照表

(単位：千円 四捨五入)

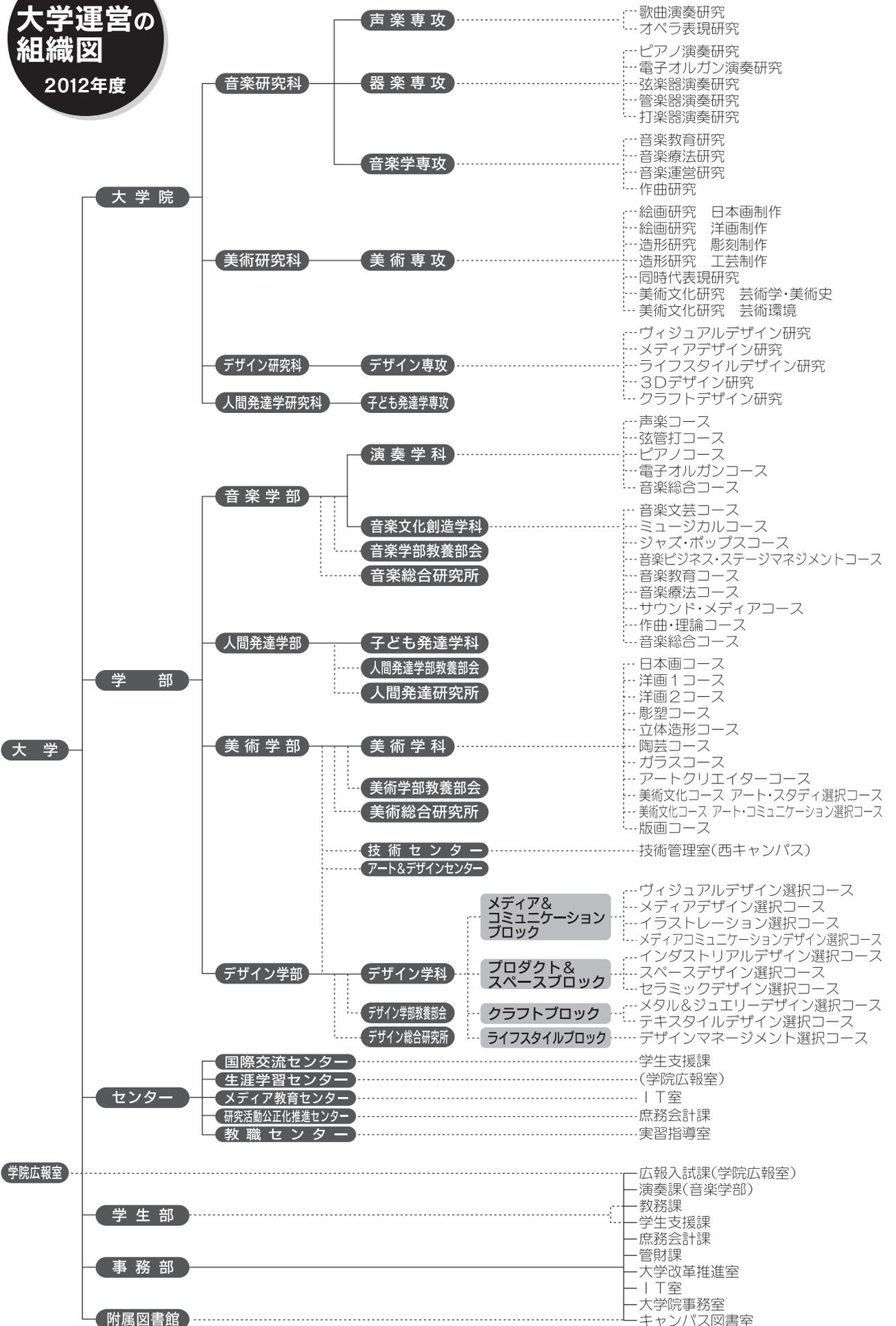
科目	23年3月31日現在	24年3月31日現在	前年度比較
資産の部			
固定資産	16,475,525	16,452,643	△22,882
流動資産	3,521,461	3,124,331	△397,130
計	19,996,986	19,576,974	△420,012
負債・基本金・消費収支差額の部			
固定負債	608,348	1,383,864	775,516
流動負債	1,141,280	958,974	△182,306
基本金	20,613,398	20,430,098	△183,300
消費収支差額	△2,366,039	△3,195,962	△829,923
計	19,996,986	19,576,974	△420,012

資産総額は195億7700万円で、資産の除却による減少が取得による増加を上回り、前年度に比べ4億2千万円減少しました。負債総額は23億4300万円で、退職給与引当金（特別繰入）により5億9300万円増加しました。基本金（第1号）は、耐震補強工事、省エネ太陽光発電設備工事などで増加しましたが、一方で過年度の未除却分を今年度一括して除却したため、基本金の除却額が組入れ額を上回る結果（基本金取崩）となりました。また、名古屋自由学院奨学基金（第3号基本金）は、当年度1億円を組入れ、平成19年度からの計画組入れ（5億円）を当年度で完了しました。

※詳細は、名古屋芸術大学ホームページをご覧ください。【芸大HP → 名古屋芸大グループ → 財務状況 → 平成23年度計算書類、事業報告書】

大学運営の組織図

2012年度



「名古屋芸大グループ木祖セミナーハウス」をご利用ください

利用目的

名古屋芸大グループ木祖セミナーハウスは、本学院の学生、生徒及び園児並びに教職員等が共同生活において交流を深め、合宿研修、学外授業及び課外活動等を通じて教育の効果を高めるとともに、教職員等及びその関係者の福利厚生等に資することを目的としています。

利用者の範囲

- (1) 本学院の学生、生徒及び園児
- (2) 本学院の教職員(非常勤講師、非常勤職員及び退職者を含む)
- (3) 本学院の卒業(園)生
- (4) (1)～(3)に掲げる利用者の家族
- (5) (1)～(4)に掲げる利用者から紹介された者で、管理責任者が特に利用を認めた者

開設期間

9月の第2土・日曜日及び12月30日の宿泊から1月2日までを除く通年。
※ただし、本学院の都合により、臨時休業する場合があります。

施設利用料

施設利用料(1人1泊 ※食事料金を除く)は次のとおりです。

利用者の範囲	利用料(小学生以下)	その他
① 本学院の園児	500円	※④～⑥の利用者で、2歳以下は無料。
② 本学院の学生・生徒	1,000円	
③ 本学院の教職員	1,500円	※本学院の教職員を問わず、学生等の引率の場合は当該学生と同額。
④ 本学院の卒業(園)生	2,000円(1,000円)	
⑤ ①～④の家族	2,000円(1,000円)	※宿泊を伴わないセミナー室のみの利用 1日:8,000円 / 半日:5,000円
⑥ ①～⑤の紹介(紹介者と同伴利用する場合)	3,000円(1,500円)	
⑦ ①～⑤の紹介(紹介者と同伴利用しない場合)	5,000円(2,500円)	

※上記以外の利用については、お問い合わせください。

食事の予約と料金 ※希望者に対応

セミナーハウスで食事を希望する場合は、利用申込時に予約が必要です。料金は次のとおりです。チェックアウト時に管理人へ支払ってください。

料金(1人分)	夕食(小学生以下 750円)	朝食	昼食(2泊以上が対象)
	1,500円(小学生以下 750円)	500円	500円～1,000円※

※昼食の内容については、管理人にお尋ねください。上記料金の範囲で希望に応じます。

【バーベキュー(夕食)】 7月～9月までの限定。(1人分)料金1,800円(小学生以下1,500円)

※設備の関係上、施設利用人数が多い場合は希望に応じられない場合があります。

問い合わせ・申し込み先

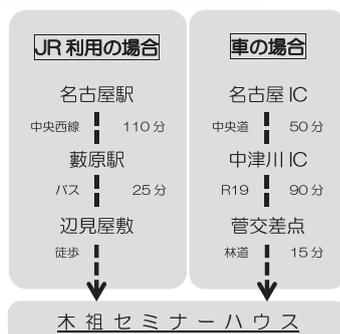
下記へ電話で予約をしてください。利用申込の詳細手続きについては、予約時にご案内します。

＜学校法人名古屋自由学院 法人事務局総務部総務課＞

場所:名古屋芸術大学東キャンパス12号館5階 TEL:0568-24-0311 FAX:0568-24-0314

交通アクセス

所在地:〒399-6203 長野県木曾郡木祖村小木曾4793 TEL & FAX:0264-36-2570



周辺の施設・観光地

- ・こだまの森
テニス、プール、
パターゴルフ、
多目的運動場、
バーベキューハウス、
巨大迷路、溪流釣り等
- ・やぶはら高原スキー場

編集後記

第53号後援会報が皆様と事務局の方々のご協力のおかげで無事、発行することができたことを心より感謝しております。新年度が始まり、新入生そして保護者の皆様方には、この歴史と伝統のあるすばらしい大学、オープンで豊かな校風の名古屋芸術大学のことを、すこしでも知っていただくことができましたでしょうか?この後援会報では大学の方針、学部ごとの報告、就職セミナーの紹介、そして西キャンパスにあるアート&デザインセンターの展覧会スケジュールや音楽学部の演奏会予定など芸大ならではの案内が載せてあります。会場で学生の向上心なども知ることができると幸いです。

2012年8月はオリンピックがロンドンで開催され、四年に一度しかないチャンスを競い合いましたね。美しい姿でした。これを機に皆さんも何かの目標設定をなされて限界の頂点に達するプロセスを楽しませてはいかがでしょうか。

広報委員長 安藤孝子

- ◆発行 名古屋芸術大学後援会
〒481-8503
愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
TEL. 0568-24-0315 FAX. 0568-24-0317
- ◆編集 名古屋芸術大学後援会 広報委員会
- ◆表紙デザイン
本学デザイン学科卒業生 武藤理恵子
- ◆封筒デザイン
本学デザイン学科卒業生 福見光洋
- ◆発行日 2012年(平成24年)9月30日

